

アセンション BOOK43

アセンションへの道1

2019年 7月

アセンションへの道1

闇が多い地球から光の地球へ



闇が多い地球から光の地球へ 目次

- 第1章 「闇の皇帝キング」の企み
- 第2章 クリアリングルームへの避難
- 第3章 キングを生み出した創造主
- 第4章 「グレートキング」を成長させるための仕組み
- 第5章 黄泉の世界と繋がるハデスコード
- 第6章 ダークピープルを操っていた者達
- 第7章 「アセンションへの道」
- 第8章 地球の未来で出会う種族達
- 第9章 「宇宙を崩壊させる宇宙」の創造主の暴挙
- 第10章 新たなる進化に向けて

作者 瀬戸武志&宇宙の光

アセンションブック

<https://www.k-suai.com/sp/index.html>

宇宙の光公式HP

<http://hikari1.com/sp/index.html>

アセンション評議会

<http://s-sun1.com/sp/index.html>

アメブロ光の世界へ

<http://ameblo.jp/e-stone1/>

Eメール TAKESHI

yume34@k-suai.com

イラスト えんじえる (佐藤弘之)

アメブロ

<http://ameblo.jp/angel-art2010/>

第1章 闇の皇帝キングの企み

PART1 隠れていた「闇の皇帝キング」

私達の宇宙には、宇宙を積極的に創造する光の創造主と光の創造主をサポートして創造を手伝う「闇の働きをする創造主」が存在しています。

「闇の働きをする創造主」は本来、光の創造主と共に宇宙を創造していく立場にあるのですが、第30評議会の「全ての闇を生み出す創造主」によって「闇の働きをする創造主」の闇の力が大きくされた事によって、多くの「闇の働きをする創造主」が、欲望と野心を目覚めさせ「狂気の闇の世界」へと落ちて行ったのです。

彼らは「闇に落ちた創造主」と呼ばれ、光の創造主と対立する事で私達の宇宙に過度の闇をもたらし、大きな混乱を引き起こしました。

そして、それは「闇の働きをする創造主」にとどまらず光の創造主達も「全ての闇を生み出す創造主」やその手下の闇の創造主の罠にかかり、自らの理性を失って「闇に落ちた創造主」となる者が増えてきました。

私達は今まで、時間をかけて各評議会を見回り、各評議会の中に隠された問題や「闇に落ちた創造主」達を浮き彫りにしてきました。私達は、時として、それらの創造主に地上に降りてもらったり、高次の創造主にお願いして光に帰してもらったりしてきました。

私達は、私達の宇宙の物理次元だけでなく、スピリチュアルな次元を担当する創造主の

評議会まで上がりました。

そしてさらには、いくつもの宇宙を統治する創造主の世界にまでたどり着きましたが、どこまで行っても、形は変われども「闇に落ちた創造主」がいなくなる事はありませんでした。

それどころか、高次元になればなるほど「闇に落ちた創造主」は大きな権力とパワーを持ち私達のみならず多くの宇宙を裏で支配していたのです。

私達はついに、第30評議会までのぼり「全ての闇を生み出す創造主」と呼ばれる創造主を光に返す事ができました。

彼は、多くの闇の創造主に自己中心的な欲望を植え付け、光の創造主と対立するように仕組んできた張本人とも呼べる創造主です。

そして、いくつもの宇宙を自分達「闇の創造主」によって支配しようともくろんでいました。

その第30評議会の「全ての闇を生み出す創造主」の行った事を明らかにして、彼を光に帰す事ができたので、これで今まで私達が戦ってきた「闇に落ちた創造主」との決着が着いたかのように私達は思っていました。

また光の創造主達もこれで地球のアセンションを妨害する創造主はいなくなったと考えていたのです。

ところが事態は思わぬ方向に動きました。

私達の会社や家庭に対してサイキックアタックを行っている動物神や理性を失った精霊達の事を調べていた時に、まるで全身を動物の毛皮で覆われたような存在が見つかりました。

見るからに不気味で血なまぐさいこの存在

は動物神達を操り、私達の会社に対して不穏なエネルギーを流し込み、私の会社のスタッフに私に対する反抗心を受えつけていたのです。

そして、私達のお店に変なエネルギーを送り続けていたのです。

その存在は、私達も今までに見た事もない存在です。

スターピープル達やハンター達に聞いても、この存在の事を全く知らないようでした。

私達は不思議に思って、この存在がなぜ私達と関わっているのか、あるいは誰の指示で私達にサイキックアタックを行うために動物神や精霊達を操っているのか調べました。

きっと、この存在を操って、アセンションの活動を妨害しようとする者達が隠れているはずですよ。

しばらく探索を続けていると、まるで時間と空間の狭間のような場所に、恵理さんが1人の創造主を見つけました。

私達の物理次元にとっても近い所でひっそりと身を隠しているように存在している創造主です。

私達は物理世界に近い創造主を呼び出してこの創造主の事を調べてもらいましたが、全くわからないようでした。

その時に突然第30評議会の創造主が現れ、私達にすぐこの場所から立ち去るように行ってきました。

第30評議会の創造主の慌てぶりを見ると、これは通常の闇の創造主ではない様子です。恵理さんはすぐにこの創造主との回路を断ち切り、私達はこの場所から立ち去りました。

恵理さんは、彼の映像を見ているだけでも、

すごくエネルギーが奪われていくようで気分が悪くなったようです。

しばらくして第 30 評議会の創造主が私達のもとに報告に来てくれました。

「TAKESHI さん、そして恵理さん先ほどはとても危険な状況でした。

というのも恵理さんが見つけてくださったこの闇の創造主はとても大きな力を持っていてとても危険な創造主だったのです。

私だけではどうにもならなかったので、すぐに第 32 評議会、第 33 評議会の創造主様を呼び出してこの「闇の皇帝キング」と呼ばれる闇の創造主を捉えてもらいました。

この創造主は名前の通り闇の創造主の最高峰にある創造主です。

第 30 評議会の「全ての闇を生み出す創造主」もこのキングと呼ばれる闇の創造主から作り出されました。」

私はその言葉を聞いてこれはまた厄介な事になったと思いました。

第 30 評議会の「全ての闇を生み出す創造主」を処理する事によって、私達はすべてが終わりアセンションへの道を歩む事ができるのだと安心していたのですが、この第 30 評議会の「全ての闇を生み出す創造主」を生み出した創造主が、地球の物理世界に近いところに隠れていたとは誰も想像していなかったようです。

私は第 30 評議会の創造主に聞きました。

「なぜ彼がこの地球の物理世界に近い場所にいたのですか、教えてください。」

第 30 評議会の創造主は困ったような顔をして答えました。

「それが私達にも分からないのです。
彼はしばらく前から創造主の世界から姿を消していました。
しばらく前といっても地球が始まる頃の話です。
それまで彼は「闇の働きをする創造主」のリーダーとして多くの「闇の働きをする創造主」の生みだし活躍していました。

しかしながらその行動はとても横暴で光の創造主達を困らせ、そして宇宙の創造に対し破壊的なダメージを与えていたために、上位の評議会の創造主様が彼の動きを封じていたのです。

そして彼はいつしか光の創造主の前から姿を消してしまいました。
私達は彼が自分の深い闇に飲み込まれたのか、あるいは異なる宇宙に行ってしまったのかその消息を知る事ができずにいました。」

「それでは、この「闇の皇帝キング」と呼ばれる創造主は、とても次元が高い創造主のようですが、どうして地球の物理世界に隠れている事ができたのですか。」と私は尋ねました。

「彼がこの地球の物理世界に近い所に隠れていたとは私達も気づきもしませんでしたし考えもしませんでした。
ただ「闇の働きをする創造主」達は、少しでも闇がある所ならどこにでも存在する事ができるのです。
光の創造主は、自分自身にふさわしい光の次元でなければ存在できないのですが、「闇の働きをする創造主」や「闇に落ちた創造主」は、少しでも闇があるところならばそこに隠れる事ができるのでとても厄介なのです。

今この「闇の皇帝キング」に関して第 32 評議会と第 33 評議会の創造主様が調べていらっしゃいますのでもうしばらくお待ちください。

彼がこの物理世界に入っていた事によって、地球の物理次元や天の川銀河の光と闇のエネルギーバランスが大きく崩されていた理由もわかりました。

今、彼が行った事を調査し、またそのエネルギーの除去に向けて私達は働いています。」

第 30 評議会の創造主は、私にそのような説明を行うと、忙しそうに私達の前から立ち去りました。

PART 2 「闇の皇帝キング」のたくらみ

しばらくして第 32 評議会の創造主様が直接私達の前に姿を現してくださいました。

第 32 評議会の創造主様は第 30 評議会の「全ての闇を生み出す創造主」を光に返す時にその処理を行ってくれた創造主様です。

彼は私達の前に立つとこの「闇の皇帝キング」について説明してくれました。

「この「闇の皇帝キング」は大いなる創造主様から生み出された「闇の働きをする創造主」の 1 人でした。

しかしながら、その行いがあまりにも横暴で破壊的でした。

彼は、「闇の働きをする創造主」だけでなく光の創造主に対しても、非常に独裁的で支配的な立場をとっていたために、他の創造主が適切な成長を行うためには好ましくない創造主でした。

そのために私達光の創造主は評議会で相談して、「闇の皇帝キング」が皆さんの宇宙のみならず多くの宇宙に関わらないようにと言う勧告を行ったのです。

しかしながらその勧告を不服に思った「闇の皇帝キング」は私達の前から去ってしまいました。

それ以来「闇の皇帝キング」を見た創造主はいなかったのです。

そして今回物理世界に近いところで発見された事に関して、私達はその理由を調査しましたが、ようやくその目的が分かりました。」

私達は、「闇の皇帝キング」が何を企んでいたのか、とても知りたいと思っていましたので第 32 評議会の創造主の報告に内心期待していました。

「「闇の皇帝キング」は地球と地球に関わる宇宙がアセンションするその瞬間に、アセンションを迎える宇宙の光と闇のエネルギーをひっくり返しアセンションを失敗させようと考えていたのです。

アセンションの時は、今までとは全く異なる光と闇のエネルギーの動きが起こります。光と闇のエネルギーが最大限にまで高まり、そして瞬時に闇のエネルギーが光のエネルギーに変わるとその世界がアセンションして行くのです。

しかし、闇のエネルギーが光のエネルギーに変わるその瞬間に、闇のエネルギーのほうが大きくなると、光が闇に変わり、その宇宙は今までよりもさらに闇の深い宇宙になります。

「闇の皇帝キング」は地球の物理次元に近い場所に隠れていて、その瞬間を狙っていたの

だと思えます。

そうする事によって地球のみならず皆さんの宇宙すべてが一瞬にして闇の多い宇宙へディセンションする事になるからです。」

私は第 32 評議会の創造主の言葉を聞いて冷や汗が出そうになりました。

スターピープルや光の創造主達、そして私達がここまで苦労して作り上げてきた地球とこの宇宙のアセンションを一瞬のうちにしてひっくり返す事ができる創造主が隠れていたという事に大きな衝撃を覚えたのです。それは私だけでなく、一緒に話しを聞いていたスターピープル達も同じ気持ちでした。

「しかしながら TAKESHI さん、「闇の皇帝キング」は私達に捕えられましたので、地球がアセンションする時に、彼がそのアセンションをひっくり返す心配はありません。またこれだけでなく「闇の皇帝キング」が行った事をさらに深く調べ、彼が行った事を私達は適切に処理する事ができますのでご安心下さい。

この事は第 32 評議会と第 33 評議会の創造主を中心に、物理世界の創造主達と協力しながら行なっていきます。」

しばらくの間、光の創造主達の動きがとても慌ただしくなりました。

それは「闇の皇帝キング」が第 30 評議会の「全ての闇を生み出す創造主」や「宇宙を侵略する創造主」そして「多彩な機能を持つ創造主」などを利用して、私達の宇宙に様々な仕掛けを作って行った事が次々と明らかになったからです。

私達はこの 3 人の闇の創造主がいなくなっても、地球のエネルギーが劇的に変わるわけ

でもなく、また私達の物理世界がすみやかに分離される事がない事を非常に不思議に思っていました。

これだけの力を持った闇の創造主達を私達の宇宙から遠ざけたのですから、もっと大きな変化があってもよかったです。

しかしその裏に「闇の皇帝キング」のような創造主が隠れていたとすれば、この3人の創造主がいなくなったとしても「闇の皇帝キング」が作り上げていたアセンションを妨害するための仕掛けというものがまだまだ残っていて当然だったのです。

そして何よりも、今まで多くの「闇に落ちた創造主」によって覆われていた地球の闇がすべて切り落とされ、本当の裏幕である「闇の皇帝キング」そのものの闇の力が、私達の世界を覆い包んでいた事が分かったのです。

「闇の皇帝キング」が発見された直後から、今までに見た事もないようなダークピープル達や魔導師達、あるいは闇の存在達が目にとまるようになりました。

彼らは誰かに統制されているようにも見えますが、自分達の単独の意志でも自由に動き、私達の活動を妨害しているようです。

私はこれが「闇の皇帝キング」と関係があるのか、第32評議会の創造主に尋ねました。

「これらの存在は「闇の皇帝キング」が地球と皆さんの宇宙のアセンションをひっくり返した後に、皆さんの宇宙を支配するために作り出していた存在のようです。

彼らは闇の深い所に隠されていたのですが、キングが捕まった事によって自分達を覆い隠している闇が無くなってしまい、皆さんや光の創造主達、スターピープル達の目に触れ

るようになってしまったのです。

そして、「闇の皇帝キング」が捕えられた事に対して大きな怒りを持っていますので、皆さんに復讐しようと動いています。

彼らがまだどのような力を持っているのか私達にも分かりませんので、どうか十分に気をつけてください。

もちろん TAKESHI さん達の周りは、スターピープルや大天使達によって守護されていますが、彼らは非常に物理世界に近い所で動いている存在なので、私達のカも届かない時があります。

どうかあまり闇の多い世界に触れる事なく自分達の身を守ってください。」

ご自分で身を守ってくれと言われても、スピリチュアル的にも物理的にも特別の力を持たず、まるでサンドバックのようにダークピープル達からのサイキックアタックを受け続けている私達には、自分達を守るすべがないのです。

私達はまた同じ事の繰り返しにうんざりです。

闇の創造主やダークピープル達を処理しても処理しても、その上位の創造主やさらに強力なダークピープル達が現れ、サイキックアタックも今までよりもさらに強力なものになってくるのです。

確かにこの「闇の皇帝キング」が現れるしばらく前から、私達家族の状態は決して良いものではありませんでした。

子供達も鼻炎や鼻水がひどく、私や恵理も同じように体調不良で毎週休みになるたびに耳鼻咽喉科や病院、あるいは鍼灸治療院に通うというような生活でした。

もちろんサイキックなアタックによるものですから、病院に通った所で治るわけではありません。

しかしながら子供達の事を考えれば保育園に通うためには、病院に行ってお医者さんからの診断や治療を受けなければなりません。

幸い子供達は4月から2人とも保育園で預かってくれるようになりました。

子供達は、保育園に行っている間は大きなサイキックアタックを受ける事もなく楽しく暮らしているようですが、家に帰ってくると食欲もなくなり、子供達も情緒が不安定になり体調不良に悩まされているのです。

もし「闇の皇帝キング」によって生み出されたダークピープル達が残っているとしたら少しでも早く処理していかなければ、私達も安心して生活する事ができません。

PART2 クリアリングルーム

への避難

PART1 大天使からの救出命令

そのような時、大天使達が私達の夢に現れてきました。

この大天使達は「愛で統一された宇宙の創造主」から送り込まれた大天使達です。

恵理さんの夢の中でこのように告げてきました。

「恵理さんそして皆さん、早くこの場所から抜け出してください。

実は「愛で統一された宇宙の創造主」達の調べで、皆さんと共に行動している「監査の創造主」や皆さんの宇宙の創造主達が、「闇の皇帝キング」の影響を受けて皆さんを闇の多い世界にとどめたままにしているのです。

「監査の創造主」は様々な闇の創造主が行った事を調べ、その行いを適正なものにする事が目的なのですが、皆さんの健康状態や皆さんの精神状態を考えて、もう皆さんの家族を使って闇の多い世界を調べる事は限界があるという事を「監査の創造主」の上位の創造主達は決断したのです。

しかしながら物理世界に近い「監査の創造主」達は、「闇の皇帝キング」の影響を受けて皆さんの中に闇の多い世界へのゲートを開き、その世界のエネルギーの中に皆さんを捕えさせていたという事が分かりました。

このままでは皆さんは闇の多い世界に取り

残され、アセンションする世界から遠く離されてしまいます。

「闇の皇帝キング」が狙っていた事はまさにそのような事なのです。

地球が大きなアセンションを迎える時には、あなた方家族が大きな要となります。

その要となる家族を失ってしまったら、「闇の皇帝キング」が狙っているように、光と闇のエネルギーが拮抗した時に、闇のエネルギーが光のエネルギーを飲み込んでしまい、皆さんの宇宙が大きなディセンションを迎えるという事も起こり得るのです。

そのために皆さんを闇の多い世界にとどめ、このような動物の神々や闇に堕ちた精霊達、そしてダークピープル達と繋がるためのゲートを開き、皆さんの精神や皆さんの体力が弱ってくるのを狙っているのです。

このままでは皆さんの生命が危険にさらされるために、「愛で統一された宇宙の創造主」達を中心にして皆さん達をもっと深く守護するという事を決定しました。

しかしながら、現在皆さんがいる世界は、まだ闇が多い世界ですので、「愛で統一された宇宙の創造主」は関わる事ができない世界です。

皆さんがその世界から出て、最低限皆さんの宇宙のクリアリングルームに入らなければ「愛で統一された宇宙の創造主」も守護ができないのです。

どうかこの世界をすぐに出てクリアリングルームに入ってください。」

大天使からのメッセージで、この数か月の間、自分達の体調が悪かっただけでなく憑依霊や黄泉の世界とのゲートが開いて闇のエネルギーが家に流れ込んでいた理由が分かり

ました。

そしてアチューメントを新たに申し込んでくる人達も、様々なヒーリングなどを行っている人達や光40%台前半から中盤の人達が多く、その人達と繋がっているダークピープル達の影響でアチューメントを申し込まただけでも、ネガティブなエネルギーが私達を襲い、体調が悪くなる理由も分かりました。

私達は、アセンションするために努力している人達をサポートして、地球のアセンションを進める事が活動の目的なのですが、私達が本来サポートすべき人達とのつながりが上手く作れていません。

私達が、多くのアセンションを行うべき人のサポートができないために、スピリットがアセンションしたいと思っても、それらの人は現実世界の闇の罠に捕らわれたままでアセンションする事ができないでいるのです。

スターピープル達も、私達が闇の多い世界に閉じ込められているために、私達をサポートしたり、私のゲートを使って多くの人達を導く事ができないでいます。

それは高次元の「監査の創造主」の指示を守らずに、闇の多い世界を探索させていた物理世界の「監査の創造主」による影響が大きかったようです。

もちろん「監査の創造主」も、「闇の皇帝キング」からコントロールされていたために、彼の本意ではない事を行っていたようですが、私達が大きなダメージを受け続けていたのは事実です。

「愛で統一された宇宙の創造主」は「監査の創造主」の動きを抑え、私達が光のクリアリ

ングループに急いで入れるように手伝ってください。

私達は、今までアセンションすべき人々が、まだ闇の多い世界に捕らわれていたために、光46%から48%の間を行き来しながら彼らのスピリットや魂を救出してきました。そのために、ダークピープルや闇の創造主が仕掛けた罠を解き明かし、多くのダークピープル達と戦ってきました。

しかし、私達に対するダメージも許容できる範囲を超えてきてしまったので、何度もその事を「監査の創造主」に訴えてきましたが、私達の肉体や意識を使って彼の探索は続けられていたのです。

私達は、闇の多い世界から逃げ出すようにして光のクリアリンググループに入りました。この光のクリアリンググループというのは光が多い世界に行く人達、もしくは自分達にふさわしい世界に行く人達が、自分の中にあるネガティブなエネルギーや感情そして様々な闇の多い世界と繋がっているゲートを閉ざして、自分本来のエネルギー状態に戻るために準備されたものでした。

何度かこの物質世界にクリアリンググループを作ったのですが、度重なる闇の創造主の攻撃によってこのクリアリンググループは何度も壊され、作り替えを行わなければならなくなっていたのです。

今回のクリアリンググループは「愛で統一された宇宙の創造主」達がその場所を守る事になっています。

これだけ多くの闇の創造主達が関わってくれば、私達の宇宙の創造主ではクリアリング

ルームを守る事ができないからです。

PART2 憑依霊に気づく事ができないマイ ンドコントロール

私達家族は、クリアリングルームに入りこれ
で一安心できるのかなと考えていました。

しかしながら、クリアリングルームは私達に
とって思った以上に過酷な現実を突き付け
てきました。

それは私達が知らないうちに開いていた
様々な闇のゲートや闇の存在との関わりを
浮き彫りにしてきたからです。

最初に私達が分かった事は 私達の家に物理
的な次元で黄泉の世界とのゲートがしっか
りと開いていた事でした。

私達は、死者達の世界である黄泉の世界のエ
ネルギーに関わると、すぐに体調が悪くなり
ます。

子供達も、黄泉の世界から流れ込んでくるエ
ネルギーや存在にとても敏感なので泣き止
む事がありません。

子供達は、ある一定の方向を見てわーわー泣
く事がよくあります。

そのような時は、黄泉の世界のゲートが開い
て、そこから浄化されていない憑依霊のよう
な存在が現れて、私達に関わっている事がよ
くあるのです。

物理世界での黄泉の世界のゲートは、ダーク
ピープル達が私達の活動を妨害するために
良く開くのですが、スターピープル達はその
ゲートを閉じても閉じても、次から次へとゲ
ートが開かれてしまいます。

その原因が私達にはわからなかったのですが、良く考えてみると、実は私が他人の位牌を預かっていた事から、黄泉の世界のゲートが開きやすくなっていたようです。

これは個人的な事情なので詳しい話できませんが、私達の家族以外の方の位牌を通して黄泉の世界のゲートが開いていたようです。

そのためにそのゲートを通して、憑依霊や不浄な霊達が私達の家に入ったり、ダークピープル達が黄泉の世界のエネルギーを流しこんで私達を攻撃していたのです。

恵理さんも黄泉の世界のゲートに関わっている問題に、はっと気づいた事があります。それは私達が住んでいる家に中学生ぐらいの男の子とおばあちゃんの霊がよく姿を現すのです。

私達が住んでいる家は2年ほど前から借りている家なので、もともとこの家に住んでいたおばあちゃんや家族の人で亡くなった人がいたのかなと思い、あまり真剣にその事をとらえてなかったのです。

しかし、実はその男の子とおばあちゃんの霊によって恵理さんのエネルギーが大きく狂わされていたという事がわかりました。

彼女は小さいころから交通事故や病気などで突然死した人達の姿が見えていたので、このような浮遊霊の扱いには慣れていたはずでした。

しかも、セッション中でもその人に取り付いた浮遊霊などを取り去る事も行っていたので、この霊の除去についてもすぐ気づくはずですが、この霊に関しては除去しようという考えが浮かばず、自分達と一緒にいる事を認めてしまった形になってしまっていた

のです。

そのために大天使やスターピープル達がこの2人の霊を取り除く事ができずにいたのです。

そしてこの2人の霊を通して、闇の存在達が恵理さんの内側から、恵理さんを攻撃していた事が分かりました。

スターピープルや大天使達は、外側から私達に対して攻撃してくる存在達に対しては、防御する事ができますが、今回のように恵理さんに憑依している事を、恵理さんが認めたような形になってしまえば、その攻撃は恵理さんが認めた事となり、大天使達はその攻撃から恵理さんを守る事ができなくなります。

これは非常に巧妙に仕掛けられた罠でした。彼女はこのアセンションの活動するようになってから、よく頭の中が真っ白になって意識がなくなったり、手足が痛みしびれたりする事が頻繁に起こっていました。

そしてこの家に引っ越してからというもの、そのような体調不良も今まで以上に増えてきましたが、その原因の一つにこの子供とおばあちゃんの霊が関わっていたようです。

この2人の霊を通してネガティブなエネルギーが恵理さんにまとわりつき、彼女は精神や肉体の不調を起こしていたようですが、その霊達は私達にはまるで関係のない存在のように思わせて、私達の内側に入り込みませ、ダークピープル達が恵理さんを攻撃していたのです。

また、恵理さんも「闇に落ちた創造主」からの心理攻撃を受けて、そのように思わせられていたのです。

私達は、私達の家を黄泉の世界のゲートを開

く役目をしていた位牌を持ち主にすぐに返してこの黄泉の世界のゲートを閉じました。そして大天使アズラエルや月読命に、この中学生の男の子やおばあちゃんを死者の世界に連れて行ってもらいました。

PART 3 愛の感情を持たせないためのコントロール

他にも私が昔行っていたヒーリングなどを通して、私の精神状態や感情に対して大きな影響が与えられていた事も分かりました。そのために私が「愛で統一された宇宙」につながる事や「宇宙の根源の愛」の世界に入る事が妨げられ、私の感情を冷静に保つという事が妨げられていたのです。

私は常に会社がうまくいかない事に悩み、その事が大きな心の負担となっていました。そしてダークピープルから私の会社の運営を妨害されても助けてくれない光の創造主に対して怒りや憎しみ、絶望感などの感情を作り上げていたのです。その様子を見ていた大天使達もいつも私達に忠告してくれます。

「TAKESHI さん、あなたが怒りの感情を持つ事がダークピープル達による大きな罠なのです。

あなたにとっても過酷な現実を突きつけ、あなたがその事で苦しみ、そして多くの事を心配する事であなた方を愛の世界から遠ざけようとしているのです。

あなたの苦しみや悲しみはよくわかりますが、これはダークピープル達による罠であるという事をしっかりと認識してください。

あなたが苦しみや悲しみの中にいる間は私達とは深く接する事はできません。

そのために私達はあなたを十分に守護する事ができないのです。

そしてあなたが思っている現実をあなたが作り上げてしまうのです。

これは何度も言いますが、あなたの意識がコントロールされているために、起きている事です。

あなた自身の意識がコントロールされている場合には、私達ではどうする事もできません。どうかそのコントロールを自分で脱却してください。

そしてあなたがいつも皆さんに言っているように、憎しみや不安の感情と愛が同じ場所に存在できないという事を思い出し、あなたの心から不安や恐れを解き放ってください。そしてすべてを私達大天使にゆだねてください。」

これは本当に苦しい事です。

私達が不安や様々な心配から逃れようとしても、現実世界で会社の経営赤字や資金繰りの厳しさは私達に容赦なく襲ってきます。

このままではいつ会社が倒産してもいいような状態なのです。

そのような状況の中で会社の事を心配せず、お金や資金繰りの事を考えないで、愛の世界にいるという事は会社の経営者としてはとても難しい事です。

私が従業員なら、自分が働いている会社がうまくいかなかったとしたら、転職すれば良いだけの事なのです。

しかしながら経営者として自分の会社で働いている人達に対してお給料を払わなけれ

ばなりません。

また私の店舗は全て商業施設の中にありますので、店舗を閉店するにしても店舗の解体費や莫大な契約違約金を払わなければならないのでその資金も大変です。

私は常に明るく心配事をしないようにと考えていますが、この現実世界の重たい状況は、私が愛の世界に深くとどまる事を常に妨げてしまうのです。

しかし、それがダークピープル達による罠であると言う事は、私にもよくわかります。

そこから脱却する努力を常に続けなければいけません、うまくいかないのです。

大天使は全てを自分達に委ねてくれと言います。

私も出来る限りその言葉に従って、自分自身の考えや感情をクリアにしていかなければなりません、心の中にどうしても不安が残ってしまうのです。

またクリアリングルームに入った事で、毎晩夢でいろんな問題が浮き上がってきます。

これは通常の人達ではあまり起こらない事なのですが、私達がアセンションの中心となって働いているために「闇の皇帝キング」や「闇に落ちた創造主」、ダークピープル達が綿密な計画を練って私達の行動を邪魔しているのです。

私達はクリアリングルームに入る事で、彼らが行ってきた事が明るみになり、私達がアセンション活動を十分にできないように幾重にも妨害やコントロールを受けていた事を知りました。

また「闇の皇帝キング」によって私達の宿敵

とも言える「情念の女神」や「きらめきの創造主」あるいは様々な闇の創造主達も復活させられ次々と私達を襲ってきます。

私達の宇宙を統治する光の創造主やスターピープルそしてハンター達も今まで以上に防御力が強くなってきていますので、昔みたいに生命の危険にさらされる事はなくなってきましたが、それでも日々の体調不良には悩まされています。

私達は、クリアリンググループに入って今まで自分が気づかなかった様々な問題に直面しながらも、家族で助け合って問題を解決し光50%以上の世界に行けるように努力しています。

これだけアセンションのためにスターピープルや大天使達と働いている私達でさえもなかなか光50%台の世界に入るという事が難しいのです。

第3章 キングの復活とキングを 生み出した創造主

PART1 「闇の皇帝キング」を生み出した創造主

私達が、クリアリンググループで一生懸命自分達のエネルギーを浄化している間に第32評議会の創造主と第33評議会の創造主達による「闇の皇帝キング」の取り調べがだいぶ進んだようです。

第32評議会の創造主が私の元に報告に来てくれました。

「TAKESHIさん、恵理さん、「闇の皇帝キング」の取り調べが大方終わりました。

このところ皆さんに対して今までにないサイキックアタックや様々な問題が起きていたと思われませんが、それもほとんどがキングによって仕組まれていた計画でした。

私達はその事をすべて明らかにしてから、「闇の皇帝キング」を最終的には光に返す事になりました。

「闇の皇帝キング」が行った事は、私達にとっても全く想定していなかった事です。

「闇の皇帝キング」が行った事によって、皆さんの物理世界のエネルギーが大変乱れてしまいましたので、私達もできる限り協力してその是正に努めたいと思います。」

私達は闇の創造主のボス的存在である「闇の皇帝キング」が光に返される事に対して少しばかりの安堵感を覚えました。が、まだ彼によって隠されていた問題がありそうです。

光の創造主やスターピープル達はしばらくこの「闇の皇帝キング」のエネルギーの後処理に関わっていました。

そしてその事がひと段落ついた後に「闇の皇帝キング」は光に帰されたと、連絡を受けました。

しかし、その数日後、私達の落胆させるような出来事が起きました。

「TAKESHI さん、恵理さん大変です。

「闇の皇帝キング」が誰かによって復活させられていました。

私達は今その事について緊急に調べていますので十分にご注意ください。」

また同じような事が起こってしまったと思いました。

私達が光に返した闇の創造主は、他の創造主によって過去に遡り、復活させられる事がよくありましたので「闇の皇帝キング」が復活させられた事は決して不思議な事ではありませんが、ほとんどの「闇に落ちた創造主」達を処理したと置いていたもので、「闇の皇帝キング」の仲間がいた事に大きなショックを受けたのです。

私達はしばらくの間とても暗い気分になっていました。

大天使やスターピープル達から苦しみや悲しみ、怒りや不安の感情を持たないでくれと言われても、こうやって次から次へと押し寄せてくる「闇に落ちた創造主」達の攻撃にはもう疲れ果ててしまったのです。

しばらくして第32評議会の創造主が報告に来てくれました。

「TAKESHI さん、「闇の皇帝キング」はまだ動き出す前に私達が見つけたのでさほど

大きな影響を及ぼす事はありませんでした。そして誰がこの「闇の皇帝キング」を復活させたのかと調べていたところ、この「闇の皇帝キング」を生み出した創造主様の姿が浮かび上がってきました。

この創造主様はもうすでに私達の宇宙の創造から離れ、私達の元から姿を消していらっしやいましたが、その創造主様が戻って来られて「闇の皇帝キング」を復活させられたようです。

私達は今その創造主様と様々な事を話しながら、なぜ「闇の皇帝キング」を光に返したのかという事を説明しています。」

私はこの「闇の皇帝キング」を生み出した創造主が、私達に対して何か報復をしてくるのではないかと不安に駆られていました。

今まで「闇に落ちた創造主」を光に返したら、その上位の創造主によってさらなる報復の攻撃を受ける事が何度もあったからです。もうこれ以上「闇に落ちた創造主」から攻撃を受けてしまえば、私達の心も体も持ちこたえる事はできないな、と私は考えていました。

しかしながらこの「闇の皇帝キング」を生み出した創造主は、いつもの「闇に落ちた創造主」とは異なるようです。

第32評議会の創造主からも「「闇の皇帝キング」を生み出した創造主様は自分達の事をしっかりと理解してくださり、私達が「闇の皇帝キング」を光に返した理由を了承してくださいました。」という報告がありました。

そして「闇の皇帝キング」は、このキングを生み出した創造主によって徹底的な調査を受けているという事を伝えてきてくれたのです。

そして第32評議会の創造主は、この「闇の皇帝キング」を生み出した創造主は、私達に報復する事など全く考えていない、という事を伝えてくれたので、私達は少しばかり安心しました。

そしてその翌日、この「闇の皇帝キング」を生み出したという創造主様が直接私達のもとにメッセージを送ってきてくれました。

PART2 すべての「闇の働きをする創造主」達を生み出した創造主

「TAKESHI さん達や光の創造主の皆様に対して、私は深く謝罪を行いたいと思っております。

なぜなら私が生み出した「闇の働きをする創造主」であるキングが、自らの闇に溺れ、私とともに生み出した「闇の働きをする創造主」の3人をその働きができないように深い闇の中に封印していた事が分かりました。

その事によって光の創造主と共に、この宇宙を創造し運営する「闇の働きをする創造主」が「闇に落ちた創造主」となってしまう、皆さんの宇宙は光と闇の創造主が対立する場へと変わって行ってしまったのです。

それは、皆さんが存在している宇宙だけではなく、私達が創造した全ての宇宙において同じような事が起きていました。

そして、過去において、闇の創造主と光の創造主が争ったために大きなスピリチュアルレベルでのビッグバンも起こり、多くの光の創造主と闇の創造主がともにその中に飲み込まれてしまった事を私は知りました。

また光の創造主と「闇に落ちた創造主」が争う事によって、光の創造主の多くがその力を失い、「闇に落ちた創造主」によって幽閉されたり、自分達の都合が良いように利用されるというような事も起きていた事が分かりました。

私は本来そのような目的のために「闇の働きをする創造主」を作ったわけではありません。あなたもよくご存知のように「闇の働きをする創造主」は光の創造主と共に、光と闇のエネルギーを一つに合わせて創造を行うべき存在だったのです。

闇の創造主だからといって宇宙の創造に関われないという事は全くありません。

光の創造主と闇の創造主が力を合わせない限り、本来の宇宙の創造というのにはあり得ないものなのです。

しかしながら、「闇の皇帝キング」は自ら生み出した「闇の働きをする創造主」の闇の力を高め、自己中心的な欲望を植え付けてしまいました。

簡単に言うならば、自分の「欲望の遺伝子」を全ての「闇の働きをする創造主」に与えてしまったのです。

その遺伝子によって多くの「闇の働きをする創造主」が闇の狂気に飲まれ「闇に落ちた創造主」に成り下がって行ってしまったのです。

彼らは光の創造主と争う事ばかりを考え、争う事を好まない光の創造主達を次々と自分の罠にはめて、自由に活動できないように光を奪っていきました。

本来であれば、多くの宇宙は光 50%闇 50%と言う適正な光と闇の量によって運営されなければならないのですが、そこに多く

の偏りができてしまい、皆さんの宇宙のように闇が多い宇宙がたくさん生まれてしまったのです。

「闇の働きをする創造主」だけでなく、光の創造主も闇の多い宇宙の中では、その光を奪われ、光の創造主でありながら、非常に自己中心的な創造主へと変わってしまいました。TAKESHIさん達が、創造主の評議会を調べた時に、非常にまじめで優秀な光の創造主が裏で「闇に落ちた創造主」と同じような事を行っていた事に驚かれていましたが、それも「闇の皇帝キング」と彼の手下の創造主によって仕組まれた事だったので。

また光の創造主は自分達の世界を守るために、闇の創造主達と戦って、自分達の世界を守ろうとしました。

しかしながら大きな闇の力をまとった「闇に落ちた創造主」達によって光の創造主の力は遮られ、闇の創造主達が統治する宇宙がいくつも生まれました。

その後、光の創造主達やスターピープル達によってこの宇宙のバランスを取り戻すためにアセンションが計画されました。

そして皆さんは、そのために地球に生み出され、物理世界に近い次元に存在していた「闇に落ちた創造主」達を見つけ出し、その行いを明らかにしていきました。

確かに私達から見ると闇の創造主達が捕らえられ、次々と消されていく様子は通常の事ではないように見えておりました。

光の創造主が「闇の働きをする創造主」を消し去って闇の働きをこの宇宙からなくしていくような状況に見える事もありました。

そのために私は「闇の皇帝キング」が光に返された時、少しばかり時間をさかのぼって皆さんの動きを制限しようとも考えました。また「闇の皇帝キング」を復活させ、光と闇のバランスを保とうともしました。しかしながら私が見ていた世界というのは決して公平な世界ではなかったようです。

それまでに「闇の皇帝キング」や彼によって生み出された「闇に落ちた創造主」達があまりにも横暴な事をしていたために、皆さん達が光と闇のバランスを復活させるためには、「闇に落ちた創造主」達を処理する事しか方法がないと考え行動していた事がわかりました。

私は自分が生み出したキングの事を信賴していたのですが、彼に根付いた大きな野望や闇の力によって私の意図していない事が起きてしまったという事が事実です。私は光の創造主や皆さんが行ってきた事、そして「闇の働きをする創造主」達が行ってきた事を調べ、私が創造したキングによって多くの過ちが行われていた事が理解できました。

私は今その修正を光の創造主と共にっております。

この修正が終わりましたら、本来「闇の働きをする創造主」だった者達はその闇の力から解放し、本来の働きができるようにしたいと思います。

また私は、以前と同じように、4人の「闇の働きをする創造主」を生み出し、お互いが闇に飲み込まれる事なく、適正な働きをするように、理性と叡智に満ち溢れた「闇の働きをする創造主」を作り出します。

そしてこれからは、彼らに光の創造主と共にバランスが取れた宇宙の創造を行わせるつもりです。

多くの闇の創造主によって大変な痛手を受けてしまった TAKESHI さんや恵理さん、そして皆さんの家族の方達に対して深くお詫びを申し上げたいと思います。

どうか「闇に落ちた創造主」が行った事を許してあげてください。

そして光の創造主とともにその贖いは私達がさせて頂きますのでよろしくお願いいたします。」

PART3 「闇の皇帝キング」の遺伝子の修正

私はこのメッセージを受け取って本当に嬉しくなりました

「闇の皇帝キング」を生み出した創造主自らが私達に謝罪しその償いをすると言ってくれたからです。

私はこのすべての「闇の働きをする創造主」を生み出した創造主を、「闇の皇帝キング」のお父さんなので、略称で「グレートキング」と呼ぶ事にしました。

「「グレートキング」よ、それではどのような事をしてくださりますか。

私達の周りにはいる闇の創造主やダークピープル達が、私達にこれ以上サイキックアタックを行わないように防御してもらいたいのですがいかがでしょうか。」

と私はお願いしました

「グレートキング」はにっこりと笑ってこのように答えました。

「わかりました。

今皆さんの世界にいる闇の創造主やダークピープル達も、全てこの闇の皇帝であるキングの遺伝子がその中に入っていると思われ
ます。

私は全ての闇の創造主や「闇の働きをする創造主」そしてダークピープル達を私のもとに呼び寄せ、このキングの遺伝子とキングから与えられた力をすべて抜き取りたいと思います。

そして「闇の働きをする創造主」やダークピープル達も適切な闇を持って働く事ができるようにしたいと思っています。

本来「闇の働きをする創造主」は光の創造主と協力して、皆さんの進化のために働かなければならないのに、その事ができなくされてしまった事もすべて「闇の皇帝キング」の企てです。

私をまずその影響を皆さんの宇宙と私が創造したすべての宇宙から取り除きたいと思います。」

「グレートキング」はそのように言って消えていきました。

実際ダークピープル達からどのようにして「闇の皇帝キング」の遺伝子を取り去るのか興味深いところです。

数日後、私は大天使ミカエルを呼び寄せて何か変わった事が起きたか聞きました。

すると大天使ミカエルこのように答えました。

「私達の目の前から一斉にダークピープル達が全ていなくなっていました。

このような事は、今までに一度もなかった事です。

きっと創造主様がダークピープル達を全て集めてくださり、そのエネルギーの調整を行っているのではないかと思います。」

大天使ミカエルも少しばかりの時間ですが、ようやく休憩ができた事に喜びを持っているようです。

そしてエレナさん達からも報告がありました。

「ダークピープル達を始め、闇の創造主達に大きな異変が起きているようです。

今までの深い闇が少しずつ晴れて地球の光の度合いが少し上がってきたようです。

おそらく最高位の闇の創造主様が「闇の働きをする創造主」や「闇に落ちた創造主」達のエネルギーを調整してくださっているために、そのような事が起きたようです。」

「闇の皇帝キング」を生み出した創造主は、今までのどの創造主よりもはるかに優れた力で、「闇に落ちた創造主」達やダークピープル達を見極め、「闇の皇帝キング」の遺伝子を抜き去る事で、彼らの性質を変えてくださいました。

これは、私達のアセンションにとっては画期的な進歩となる事でしょう。

多くのスターピープル達に喜びと安どの感情が広がっていきます。

しかし「闇の皇帝キング」もおそらく「グレートキング」が出てくるかもしれない事を想定して「グレートキング」の盲点を突くような仕掛けも作っていました。

その一つは「闇の皇帝キング」が作った創造主達を「グレートキング」が想定していないような場所に隠していたという事です。

その場所は彼らのニュアンスで言うとゼロ地点というような場所です。

そこは創造主達の生と死の狭間というような場所で、そこに隠れる事で「グレートキング」の目を逃れていた創造主達もいました。

また私達の周りに異変が起きるので調べてみると、過去から現代につながるゲートが作られていた事も分かりました。

それは「闇の皇帝キング」やキングの仲間達がまだ生きていた過去の時代から、この「グレートキング」によって全ての創造主やダークピープル達が修正された後の時点にゲートを開き、過去から闇の創造主達を連れてきて、私達に対して攻撃を行って来ました。

これは「闇の皇帝キング」がアセンション妨害するために、彼が生きていた時代に作られていた仕掛けなのです。

さすがに「グレートキング」も、長い間この地球のような物理世界に関わった事がなかったために、この物理世界の特質や仕組みを使った「闇の皇帝キング」の攻撃には十分に対応ができなかったようです。

彼はこんなやり方があるのか、と「闇の皇帝キング」が行った事に感心しながらもその処理をどんどん行ってくれました。

そしてその後も私達は「グレートキング」とともに「闇の皇帝キング」や闇の創造主が仕掛けた罠を次々と見極め、そこから地球の人々やスターピープル達のスピリットを解放していきました。

それは2019年の5月末頃まで続きました。

私達も、40%の中頃から光48%の間を行き来しながら、「グレートキング」と共に「闇の皇帝キング」が作り上げた罠や仕掛けを解

消していく事が続きましたので、私達がクリアリングルームを出て光50%台の世界に入る事がだいぶ遅れてしまいました。

そして私達だけではなく、次々と明るみにされる罫に捕われていた多くの地球人達もアセンションした世界に行く事がかなり送らされてしまいました。

しかしながら私達のアセンションの最終期限は2019年末ですので今までの遅れを「グレートキング」の手伝いによって取り戻していかなければなりません。

第4章 グレートキングを成長させるための仕組み

PART1 不安な出来事

私達と「グレートキング」の共同作業は6月になって、さらに本格的になってきました。「グレートキング」が生み出した「闇の皇帝キング」がこの物理世界に存在するダークピープル達を使って作り上げていた罠はとても複雑で多岐にわたるものでした。空間だけではなく時間も超えて、様々な角度から私と恵理さんの動きを封じ込め、アセンションを妨害するために作られてきたものです。

私達はサイキックアタックが襲ってくるたびごとに、それがどのような存在から、どのような形で行われているのか見極めながら、その問題を「グレートキング」と共に片付けていきました。

ところがあるとき光の創造主の数名が協力して私達の活動を妨害するようなエネルギーを送ってきたことが判明しました。私達の家にも光40%台前半の「闇が多い世界」のゲートを開き、私達の家族に闇のエネルギーを送り込んでいたのです。

私はその理由を問いただすと、いつものように光が少ない世界にいる人々を助けるために、私達の光をその世界につないだのだというような弁明をしたのですが、結果的には私達と闇の世界をつなぎ、私達にダメージを与える事になってしまいました。

その不可思議な行いに「グレートキング」も少し首をひねっていました。

私は「グレートキング」にこの光の創造主達の中に「闇の皇帝キング」につながる闇の遺伝子が入れていないかどうかを調べてもらう事にしました。

「グレートキング」よ、この光の創造主達が行っている事は、闇の創造主が行っている事とあまり変わりません。

この光の創造主達の中に「闇の皇帝キング」のエネルギーが送り込まれていないか調べてください。」

私の言葉を聞いて「グレートキング」も少し訝しげに思っています。

「私が光の創造主を調べようとした時に、第26評議会の創造主の1人が来て、「私達の宇宙の光の創造主は問題がないので調べる必要がありません。」というような事を言ってきましたので、私は皆さんの宇宙の創造主達を調べなかったのですが、実におかしな事です。

これから、皆さんの宇宙の光の創造主達をすぐに調べてみる事にしましょう。」

「グレートキング」はそのように言うと私達の宇宙の創造主を調べるために私の元から消えていきました。

私も、第26評議会の創造主の誰がそのような事を言ったのだろうと不審に思い、いつも私と行動を共にしている第26評議会の創造主を呼び出して調べてもらうようお願いしました。

しばらくすると困った顔をして「グレートキング」が戻ってきました。

「TAKESHIさん、彼らは光の創造主でありながらも、「闇の皇帝キング」によってコントロールを受けていたようです。

彼らの中から「闇の皇帝キング」のエネルギーが発見されました。

私は第26評議会の創造主から、皆さんの宇宙の光の創造主は問題がないと聞かされていたのですが一体これはどうした事でしょうか。」

私は「グレートキング」に対して問題がないと言った光の創造主を呼び出す事にしました。

しかしながら、その創造主は私達の呼びかけに応じて出てくる気配がありません。

第26評議会の創造主も、私から尋ねられて第26評議会の創造主を調べたようですが、該当する創造主はいなかったようです。

という事は私達の宇宙の創造主ではない創造主が関わっていた可能性もあります。

私達は「グレートキング」にお願いしてその創造主を探してもらう事にしました。

「グレートキング」も自分にそのような報告をした創造主の事が知りたいようです。

「グレートキング」はしばらく目を閉じてその創造主の事を探していました。

そしてしばらくすると私達の前にその創造主が姿を現しました。

その姿を見て「グレートキング」は驚いているようです。

「TAKESHIさん、この第26評議会の創造主と名乗った存在は皆さんの宇宙の創造主ではないようです。

私に少し心当たりがあるので調べさせてください。」

「グレートキング」はそのように言うと姿を消しました

PART2「グレートキング」を成長させるための仕掛け

その翌日「グレートキング」が私達の前に現れました。

「TAKESHI さん少し困った事が起こりました。

昨日現れた第26評議会の創造主を偽っていた創造主は皆さんの宇宙の創造主ではありませんでした。

かなり昔の話になりますが、私が自ら創造した宇宙を離れた事にはとても大きな理由がありました。

それは、私は自分自身をもっと成長させるために、自分が創造した宇宙ではなく、他の宇宙へと行きそこで自分の学びのためのトレーニングを行いたかったのです。

そのためにいくつかの宇宙を訪ねました。

私はある宇宙を訪ね、その宇宙の創造主に、私は大きな学びを得たいので私を修業させてもらえませんかとお願ひしたのです。

その宇宙の創造主は、このように言ったのです。

「いえ、この宇宙ではあなたは学ぶ事はありません。

もしあなたが学ぶのだとしたら、あなた自身が創造した宇宙の中で大きな学びを得る事ができるでしょう。」

そう言って私がその宇宙に入る事を許さなかった宇宙があります。

実は昨日現れた創造主は、この宇宙から派遣された創造主だったようです。」

私はよく事情がわからずに、どうしてそのような事が起きたのですかと「グレートキング」に尋ねました。

「それは私が訪ねた宇宙の創造主が、私が自分の宇宙で大きな学びを得る事ができるように、自分達の宇宙の創造主の1人をわたしの宇宙に派遣して、様々な困難な出来事を起こさせたのです。

その創造主は、私達が作り上げた闇の働きをする4人の創造主の中でとても大きな野心を持っていた「闇の皇帝キング」に大きな力を与え、「闇の皇帝キング」が、自分が思ったように活動できるような創造主に変えてしまったのです。

そのために「闇の皇帝キング」は他の「闇の働きをする創造主」の3人を自分の力で封じ込め自分達の宇宙から追い出してしまったのです。

他の3人の「闇の働きをする創造主」はとても理性的な創造主で光の創造主と協力し合いながら皆さんの宇宙の創造を行っていたのです。

しかし「闇の皇帝キング」は光の創造主と対立する事を望み、その3人の「闇の働きをする創造主」の力を奪い封印してしまいました。

そのために皆さんの宇宙のみならず多くの宇宙で「闇の働きをする創造主」が正当な判断力や能力を失い、非常に自己中心的で光の創造主と対立するような闇に堕ちた創造主に変えられてしまったのです。

その後の事はもう皆さんは十分お分かりでしょうが、実はこの事が私に対する学びだったのです。

他の宇宙の創造主はあえて「闇の皇帝キング」

に力を与え、私が統括する宇宙の光と闇のバランスを大きく壊してしまいました。

そのために私達が考えてもいなかったような事が皆さんの宇宙だけでなく多くの宇宙で起きてしまったのです。

しかしながら私は自分が作った宇宙でそのような事が起きているという事も知らずに、他の宇宙をめぐっていました。

どこか他の宇宙で私の事を成長させてくれる宇宙を探していくつもの宇宙を旅していたのです。

その時私がすぐに自分の創造した宇宙に帰っていれば「闇の皇帝キング」の異変に気づきすぐにその問題を解決する事ができたでしょう。

しかしながら私が長い間、私が創造した宇宙を留守にしたために、光の創造主の代表である「グレートホワイトキング」を中心とした光の創造主と「闇の皇帝キング」が生み出した闇の創造主の対立が非常に深くなってしまったのです。

私は「闇の皇帝キング」が皆さんによって光に帰された事で、私達が創造した宇宙に何か異変が起きているという事に初めて気づきました。

そしてその事を調べるために、私は他の宇宙を旅する事を止めてすぐに自分が創造した宇宙に戻ってきて「闇の皇帝キング」を復活させようとしていたのです。

しかしながら、この事も全て私が大きな学びを得るために他の宇宙の創造主が準備していた事でした。」

私はその話を聞いて驚きました。

「という事は「グレートキング」よ。
この私達の宇宙の混乱は、あなたを成長させ

るためにあえて起こされたという事なので
しょうか。」

私は戸惑いながら「グレートキング」に尋ね
ました。

「TAKESHIさん本当に申し訳ありません。
彼らは私が創造した宇宙を混乱させ、大きな
問題を起こす事によって、私がそれを解決し
私自身の成長となるように仕組んでくれた
ようです。」

私ははっきり言って拍子抜けしてしまいま
した。

スターピープルや光の創造主がこれだけ苦
労して多くの犠牲を払いながら、この宇宙を
バランスのとれた宇宙へ変えようと必死で
努力してきましたが、その原因が私達の宇宙
を創造した最高レベルの創造主を鍛えるた
めに、他の宇宙の創造主が行ったのだという
事を知った時、私達は語るべき言葉を失いま
した。

私達はしばらく沈黙しました。

今迄、闇の多い宇宙を光の多い宇宙にする為
に、スターピープル達や創造主達が払ってき
た犠牲は何だったのだろうと思いました。

多くのスターピープル達が、「闇に堕ちた創
造主」達の暴力的な行為によってその生命を
奪われたり、長い間、闇の世界に封印されて
耐え難い苦しみを味わってきたのです。

私達の宇宙の創造主も、昨年秋、「多彩な
機能を持つ創造主」に対抗できないからとい
う理由で全て光に帰され、新しく作り変えら
れてしまいました。

多くの創造主達が、今までに光に帰ってい
ったのです。

そしてこの地球を中心として、闇の多い宇宙から脱皮するためにアセンションが計画され、数え切れないほどの創造主やスターピープル、マスター達がそのために働いてきました。

その理由が「グレートキング」が成長するために、異なる宇宙の創造主が仕組んでいたものだったという事なのです

「グレートキング」が呆然としている私達を見て言いました。

「これは全て私がこの宇宙を離れ、皆さんの宇宙や私が創造した宇宙を見ていなかった事が原因です。

異なる宇宙の創造主が、私の成長のために行なってきた事を見逃してしまい、そのために皆さんの宇宙だけでなく多くの宇宙が闇の深い宇宙となってしまいました。

私達はこれからその責任を取って、皆さんの宇宙を本来あるべき正しい宇宙へと戻していきたいと思います。

これは私の責任ですので、私達がしっかりとその仕事を行いますのでどうか許してください。」

スターピープル達も、私を通して「グレートキング」の言葉を聞いていました。

多くのスターピープル達が、この宇宙で闇の創造主が暴れていた原因や私達の宇宙が闇の多い宇宙となった根本的な原因がここにあったのだと理解したようです。

PART3「グレートキング」による宇宙の正常化

スターピープルの1人が私にいました。

「TAKESHIさん、これは考えようによっては、地球のアセンションを大きく進ませる事ができる事かもしれません。

なぜなら皆さんの宇宙だけでなく、多くの宇宙が闇の創造主によって混乱させられた原因がはっきりと分かったからです。

そして私達の宇宙だけでなく、多くの宇宙の最高責任者である「グレートキング」様が自分の責任でその処理を行い、本来あるべき宇宙に返してくださるとおっしゃった事はとても大切な事です。

なぜならば、この宇宙の混乱や光と闇のバランスをしっかりと整える事は、最も高次元の創造主でなければできない事なのです。

その創造主様が自分の責任でその事を行うとおっしゃっているのですから、これ以上素晴らしい事はありません。

私達の宇宙の創造主やスターピープルが全員協力しても、何百年、何千年とかかるような仕事を高次元の創造主であれば本当に一瞬の間に行ってしまいます。

そうすれば地球のアセンションの遅れも取り戻す事ができますし、何よりも多くの宇宙が光と闇のバランスが整い、本来あるべき宇宙に戻る事ができるのです。

私達はその事を喜んでもいいのではないのでしょうか。」

確かにそうかもしれません。

私達の宇宙、そして地球がとても闇の多い世界に変わった原因がはっきりとわかったのですから、それを正常化するための方法というものもすぐに分かるでしょう。

そして最高次元の創造主である「グレートキング」がその事を行ってくださるのですから、あとは「グレートキング」にお任せすれば良いのです。

「わかりました「グレートキング」よ。私達の宇宙の創造主とスターピープルは、あなたに全面的に協力してくれると思いますので、あなたの力でこの地球のみならず多くの宇宙を正常化してくださる事を望みます。」私はそのように言いました。

これは私だけでなく多くのスターピープル達の願いでもあるのです。

「わかりました、TAKESHIさん。私達は光の創造主やスターピープル達とも協議を行い、皆さんが望んでいる世界、望んでいる現実が実現できるように努力したいと思います。」

「グレートキング」はそのように言う姿を消しました

「グレートキング」は物理世界に近い創造主やスターピープル達にこの宇宙で起きた事やあるいは修正しなければならない事などを細かく調べてもらっているようです。

それからしばらくの間「グレートキング」と光の創造主の代表である「グレートホワイトキング」そして様々な次元の創造主やスターピープル達との間で協議が行われました。

しかしその間にも「闇の皇帝キング」だけではなく異なる宇宙の創造主によって仕掛けられた罠や様々な問題がどんどん浮かび上がってきました。

私達はその事に1つ1つ対処しながら処理すべき問題を見極めて行ったのです。

私達がいくつもの問題を解決していくうちにまた新たな事実が判明しました。

「グレートキング」の学びのために、異なる宇宙から派遣された創造主は先ほどの創造主だけではなかったのです。

いくつかの宇宙から「グレートキング」に学びを与えるために数名の創造主が送られていた事がわかりました。

その中の1人は「グレートキング」に学びを行わせるだけではなく、私達の宇宙が混乱している状態を見て、自分自身がこの宇宙を支配できるんじゃないかと野心を抱き、私達の宇宙のダークピープル達を味方につけていた創造主もいました。

もちろんこの創造主に関しては事情を確認してから「グレートキング」が創造した宇宙から、自分が元いた宇宙に撤退してもらう事にしました。

また別の異なる宇宙の創造主は、私達から早く見つけてほしかったという事を言っていました。

「グレートキング」が成長するために、様々な事を行ったのですが、このまま自分を見つける事ができずに「グレートキング」の学びが中途半端な状態で終わったら、自分は派遣されてきた宇宙に帰る事ができないから困っていたのだ、というような事を言う創造主もいましたが、全くその通りです。

「グレートキング」と「ホワイトグレートキング」の働きによって異なる宇宙から来た創造主達は一旦私達の宇宙から撤退したようです。

後はこれらの創造主が行った事の後処理や解決しなければならない問題を「グレートキング」は行なっていくようです。

第5章 黄泉の世界と繋がる

ハデスコード

PART1 黄泉の世界と繋がるハデスコード

私達は日々起こるさまざまな問題を解決しながら、自分自身のクリアリングも行っていますが、様々な異なる宇宙から来た創造主達が私達の事を知って「グレートキング」に学びを行わせるために、私達に様々なコードを付けたり多くの問題を私達の周りに起こしていた事も明らかになりました。

私は様々な問題を解決する事によってクリアリンググループを出て、早く光50%以上の世界に入りたいと願っていたのですが、なかなかそうはなりません。

本来であれば光50%台の地球に入っても良いのですが、私を何かが引き止めているようです。

私はその事についてスターピープルに尋ねました。

「スターピープルよ、本来であれば、私達はクリアリンググループを出て、光50%台の世界に行き、その世界で生きる人達のために働く予定になっているのですが、私がまだ光50%台の世界に入れない理由が何かありますか。」

「TAKESHIさん、実は私達もその事で大変困っているのです。

スターピープルである私達もそして創造主達も、TAKESHIさんが光40%台の世界に

いる必要はないので、早く光50%台の世界に来るようにと願っているのですが、TAKESHIさんの足を引っ張り、いまだ光40%台に止めようとする力がとても強いのです。その理由が私達もそして創造主にもわからないのです。」

私はその言葉に大変ショックを受けました。私の中に、まだ光40%台の世界に、私をとどめるものがある事がわかったからです。私は「グレートキング」だけでなく他の創造主達やスターエナジーと呼んでいるスターピープル達にもお願いして、私の内側を調べてもらいます。

すると私の内側に光40%台前半と繋がる大きなコードが浮かび上がってきました。これは「闇の皇帝キング」だけではなく、異なる宇宙の創造主によって隠されていたコードのようです。そのコードが、今ようやく浮かび上がってきたのです。

このコードを私につけたのは「闇の皇帝キング」によって指示を受けた1人の闇のマスター・ハデスでした。オリンポス3柱の1人であるハデスは、ゼウスやポセイドンのお兄さんとしても知られていますが、彼が支配する領域は冥界つまり死んでいる者達が行く世界です。そしてこの地球を取り巻くスピリチュアルな世界をハデスは統治していたのです。

私がギリシャ旅行に行って、ある神殿で瞑想していた時に最初のコードを入れられたようです。そして宇宙の光の活動の中で、レムリアのウイザードコードを手に入れた時や冥界に降

りて行った時などに、ハデスによって私の体だけでなく魂の深い部分にまでハデスコードと呼ばれるコードが入れられました。

このハデスコードは、常に黄泉の世界のエネルギーを自分の体の中に引き寄せるためのコードであり、40%台前半の闇の多い世界との関係を強く保たせるためのコードです。そしてこのコードがある事によって私が常に冷静な状態にいる事を邪魔して、光の創造主とつながる事や愛の根源の世界とつながる事を妨害し続けてきたのです。

このコードが浮かび上がってきた事によって、私の周りで起きていた事が理解できました。

今まで何度も何度も黄泉の世界のゲートが私達の周りに開き、それを何度閉しても、すぐに開いてしまう事が常でした。

今まではダークピープルや闇の魔道士達が黄泉の世界のゲート開いていたのだと思っていたのですが、突き詰めて言うならば私の内側にハデスコードがある事によって、私は常に黄泉の世界と繋がっていたのです。

そして私の家にもこのハデスコードによって、黄泉の世界の住人達が入り込み、家族が体調を悪くしたり不気味な映像を見せられたりして混乱させられてきました。

また私の会社が上手く行かず、その事によって私自身を苦しめていたのもこのハデスコードでした。

しかしこのハデスコードは、私の肉体である第1層から魂やスピリットまでに影響を与える第5層にまで深々と入り込んでいました。

「グレートキング」もこのコードを見て非常に驚いていました。

ここまで深くそして強く入れられているコードでありながらも、「グレートキング」を始め光の創造主達が気づかなかったのです。

「グレートキング」や光の創造主そして私達の周りにいるスターピープル達は全員が協力してハデスコードを外す取り組みを始めました。

ハデスコードを持ったままでは、私自身が光の多い世界に行く事もできず、私達の家族はアセンションをこれ以上サポートする事ができなくなるからです。

「グレートキング」は、スターエナジーやクワトロ星人等、物理世界に強いスターピープル達を集めて、私に繋がっているハデスコードの解除にかかりました。

このハデスコードを解除するためには、私の肉体につけられた第1層のコードから初めて私の意識やチャクラの働きに影響を与えている第2層や第3層、そして魂やスピリットに影響を与えている第4層と第5層のコードを順番に取っていかねばなりません。

少しでも取り方を間違えると、それは私の精神や魂に対して致命的な問題を引き起こしてしまいますので、スターピープル達は時間をかけて丁寧に作業を進めています。

まるで体の中に仕掛けられた爆弾を取り外していくのと同じです。

ハデスは、このコードが発見され取り外される事になったら、このコードを緊急作動させて私の意識や魂を崩壊させるような仕組みも組み込んでいたようです。

このコードがすべて取り外されたのは、6月15日頃ですから、発見されてから1週間ほどこの作業は続きました。

そしてハデスコードが外された後に私達はまた驚愕の事実を知る事になるのです。

それは、ハデスコードは大変な闇の力を持っていますが、それ以上に大きな闇のエネルギーがハデスコードの後ろに隠されていたのです。

それはまるで闇の渦巻きのように私を深い闇の世界に誘うものでした。

その闇の渦巻きは、私が創造主と深くつながり、地球と宇宙のアセンションを手助けするという事がわかっていたために、私達の活動を邪魔するために仕組まれた大きな罠だったのです。

「グレートキング」がこの闇の渦巻きを伝えて、この闇の渦巻きの先はどこにつながっているのか調べたところ、異なる宇宙、それもとても大きな闇の宇宙に繋がっていました。おそらくこれも「グレートキング」に大きな学びを行わせるために、異なる宇宙の創造主が仕掛けた罠かもしれません。

全く思いもよらない所にこれほど大きな闇の仕掛けを作り、そして私達の宇宙の創造主達も、その存在に気づく事が出来なかった、という事自体がこの罠の重大性を現しています。

異なる宇宙の創造主でも非常に次元が高い創造主がこの罠を作ったために、「グレートキング」を始め、私達の宇宙の創造主がこの事に気づく事が遅れてしまったのです。

「グレートキング」は、私を見てこのように言いました。

「TAKESHI さん、本当に申し訳ありません。これは私の学びのために異なる宇宙の創造主が行った事です。

創造主達から、とても見えにくい場所にこのような大きな闇と繋がるような仕組みを隠し、それを私達が見つかる事ができるかどうか試されていたのです。

これは私達の方ですぐに処理して、この闇の渦巻きを TAKESHI さんから分離します。」

確かに「グレートキング」が言うように、創造主の成長のために起こった事だとしても、そのおかげで私達は大変な目に遭ってきたのです。

私は「グレートキング」に言いました。

「グレートキング」よ、あなたの学びのためにこのような事が起きている事はよくわかりました。しかしながら、それ私達にとっては生命の危機さえも引き起こしてしまう問題なのです。どうか早くこの事を処理してください。」

闇の渦巻きを取り外している間も、私の意識や夢にはとてもネガティブな感情や思いがあふれ出てきます。

しかし、このコードをそのままにしておくと、私は決して「宇宙の根源の愛」に深くつながる事ができず、光 40% 台の世界に引きずられていきますので、私達のアセンションは最後になって大きな問題を抱える事になってしまった事でしょう。

創造主とスターピープル達が協力して3日ほど、私から闇の渦巻きが取りされる事で、私はとても清々しい気持ちになりました。

これでようやく光50%台の世界で活躍でき
そうです。

第6章 ダークピープルを操っていた者達

PART1 ダークピープルを操っていた者達

「グレートキング」達がハデスコードの処理を行っている時、私達に思いがけないサイキックアタックを行ってくる者達がありました。それは私の次女である結貴が泣き止まない事から判明しました。

結貴にミルクをあげてもオムツを替えても泣き止まない時には、結貴はとても不安なエネルギーを感じているか、彼女のシェンロンに問題が起きているか、どちらかなのです。

結貴のシェンロンを呼び出して調べると、彼女のシェンロンだけでなく、この地球を守っている沢山のシェンロン達がまるで電気ショックをかけられたかのように身動きが取れずに苦しんでいるのです。

私達は、スターピープルや創造主達にお願いして、この地球を守っているシェンロン達を救出してもらいました。

そして誰がこのような事を仕掛けたのか調べてもらったのです。

そうすると今まで見た事もないようなダークピープル達が現れてきました。

彼らは、今までのダークピープルと比べて、さらに高い能力を持ったダークピープル達のようにです。

レベルが全く違う、と言っても良いかもしれません。

すぐに「グレートキング」が、そのダークピ

ーブル達のもとに行き彼らを捕まえました。私は第1評議会のエレナさんに彼らの事を尋ねましたが、私達の宇宙の第1評議会のみならず他の評議会でもこのダークピーブル達の事は把握していないようです。

エレナさんが私に報告してくれました。

「TAKESHIさん、私達もこのタイプのダークピーブル達は初めて見ました。

全ての評議会においても彼らに関する情報はありません。

彼らが一体どのような存在であるのか、何を目的としているのか、私達にはまだ分かりません。

「グレートキング」様がすぐにこのダークピーブル達の事を調べるでしょうから、その結果を待つ事にしましょう」

「グレートキング」はこのダークピーブル達を連れ去って調べているようです。

しばらくすると「グレートキング」が戻ってきて私達にこのダークピーブル達について報告してくれました。

「TAKESHIさん、そしてスターピーブルのみなさんこれは実に驚くべき事ですが、このダークピーブル達は、本来は地球に生まれた地球人やそれを指導するスターピーブル達を見守り指導するために異なる宇宙から送られてきたスターピーブルでした。」

私達はその言葉に驚きました。

確かに、地球の遙かな古代において、シリウス星やプレアデス、アンドロメダ座のスターピーブル達が協力し合って地球人を生み出しました。

そして地球人がスターピーブルになるように教育を行ったのですが、闇の創造主達から

その計画は邪魔されてしまったのです。
その時もミモーレ族と呼ばれる非常に次元の
高いスターピープル達が、地球に降り立っ
たスターピープル達を指導していました。

私は「グレートキング」に尋ねました。

「地球人がスターピープルに成長するた
めに、多くのスターピープル達が地球に来て
いました。

そしてそれを見守っていたミモーレ族とい
う優秀なスターピープルの種族がいたのだ
ですが、その多くが闇の創造主によってダーク
ピープルに変えられてしまいました。

この者達も同じようにダークピープルにさ
れてしまったのでしょうか。」

「グレートキング」を私の質問に答えてくれ
ました。

「この者達は、元々はミモーレ族よりもはる
かに次元が高いスターピープルだったよう
です。

あるいはミモーレ族を生み出したのが、この
者達だったかもしれません。

彼らが皆さんの地球に入ってきた事を知っ
た闇の創造主、おそらく皇帝キングの部下だ
と思いますが、彼がこの者達を捕らえてしま
ったようです。

そしてこの者達は自分達が助け出される事
を願っていたのですが、光の創造主は彼らを
助けだす事ができなかったようです。

そして長い間、闇の創造主によって捕らえら
れ、洗脳された事によって、彼らはダークピ
ープルになってしまったようです。

そして地球人が生み出された頃から、多くの
ダークピープル達をこの種族が操って地球
人がスターピープルに進化しないようにし

ていたようです。

簡単に言うならば、今まで現れてきたダークピープル達はすべてこの者達に操られていたといっても良いかもしれません。

彼らはとても能力が高く、自分の身を隠す事が上手だったために、光の創造主やスターピープル達も彼らの存在に気づく事はありませんでした。

私でさえも、今の今までこのような者達がまだ地球にいた事を気づかなかったので皆さんが気付かないのも当たり前です。」

私は、今まで私達が出会ったダークピープル達を裏で操っていた存在と言われても、今まで「紫ピラミッド」を支配してきた存在達にたくさん出会いましたので、その言葉を素直に信じる事ができませんでした。

「TAKESHI さん、今まで皆さんは多くのダークピープル達や「紫ピラミッド」を作り上げてきたダークピープル、ダークマスター達にもたくさん出会ってきましたが、彼らの力はそれを超えるものです。

正確に言うと、力というよりも他の存在を支配しコントロールする能力が非常に優れているのです。

この者達は「皇帝キング」だけではなく他の宇宙の創造主の力も借りてとても大きな能力やパワーを手に入れたのです。

今まで皆さんが会ったダークピープル達は、すべてこの者達の支配を受けていたといっても良いかもしれません。

この者達は自分達の手下のダークピープル達に命令して紫ピラミッドを作り上げたようです。

地球にいるダークピープル達は、自分がこの

者達によって操られているという事さえも気づかずに動いていたのでしょうか。」

私は「グレートキング」に尋ねました。

「それでは多くのダークピープル達や紫ピラミッドに関わっていたマスター達が処理された事によって彼らは表に出てきたという事ですか。」

「そのようです。

彼らを隠していたダークピープル達がほとんどいなくなってしまったために、彼らが皆さんに直接攻撃を仕掛けてきましたので、皆さんに発見されてしまったのです。」

「それでは「グレートキング」よ、この者達をどのように処理する事ができますか。」

私は「グレートキング」に尋ねました。

出来る限り早く、この厄介な者達を光に帰してもらいたかったのです。

「TAKESHI さんもうしばらく待ってください。

この者達も実は被害者なのです。

闇の創造主に捕らえられてしまい、自分達をこの宇宙に呼び寄せた光の創造主が助けてくれなかった事に対して、とても大きな怒りや苦しみを抱えています。

そのために光の創造主が計画したアセンションや地球人がスターピープルとして進化していく事を徹底的に妨げていたのです。

これは元はといえば創造主達に責任があります。

彼を捕らえた闇の創造主もそうですが、それを助け出す事ができなかった光の創造主の力不足によって、彼らは献身的なスターピー

プルから邪悪なダークピープルになってしまったのです。

そしてその最終的な責任は全て私にあります。

私は彼らから闇の力を取り去って本来のスターピープルへと戻したいと思います。」

「グレートキング」は自分がこの宇宙を留守にしていたために、多くの創造主やスターピープルに対して大変な迷惑をかけてしまったという事をとても気にかけています。

私もこれだけレベルの高い者達が、アセンションを妨げていた理由が、創造主達が彼らの事を助けだせなかった事に対する怒りであった事を知って、この者達がとてもかわいそうになりました。

私も創造主のもとで働いていますが、あまりにも理不尽と思える事が良くあるので、いつも創造主に対して文句や愚痴ばかりを言っていますので、彼らの気持ちも少しだけ分かります。

しかし、彼らは私達と違って、光の創造主が助け出してくれなかったので、闇の創造主にその心を支配されて働くしかなかったようです。

「わかりました「グレートキング」よ、どうか彼らが本来のスターピープルに戻れるように彼らの事を助けてあげてください。」と私は答えました。

私の言葉を聞くと「グレートキング」はこの者達を連れて消えていきました。

PART2 地球の修正と私達の現実

そしてしばらく経った後「グレートキング」と彼に連れられたスターピープル達が戻ってきました。

もちろん、あの時のダークピープル達のようにです。

「グレートキング」が嬉しそうに私達に報告してくれました。

「TAKESHI さん、彼らから闇のエネルギーを除いて、本来のスターピープルへ戻す事ができました。

彼らはこの地球が創造され、地球人が生み出された頃にこの地球にやってきた事や闇の創造主に捕えられてダークピープルの遺伝子を入れられ、闇の創造主のために働いてきた事、そして多くのスターピープルを捕えダークピープルにする手伝いをしてきた事、また地球人が進化できないための活動を行ってきた事を全て私に話ししてくれました。

私は彼らの言葉を信頼し、そして物理世界に近い創造主やスターピープル達と協力しながら彼らが行ってきた事をどのように処理するか相談していきたいと思います。

そしてなるべく彼らが行なってきた事を修正し新しい本来の地球を作り上げたいと思います。」

私は一つ気になる事がありました

「グレートキング」よ。

今回あなたが来てからいろんな修正を行い、地球が本当に素晴らしくなっていくのではないかと私は考えているのですが、私達の現実生活はあまり変わっていません。

私達の会社も大変厳しい局面を迎えていますし、恵理さんや子供達はいつもダークピープル達の攻撃をうけて苦しんでいます。

なぜ私達の生活や私達が見ている現実は変わらないのですか。」

「グレートキング」は困惑したように答えました。

「TAKESHI さん、それはあなたが物理世界にあまりにもフォーカスしすぎているために1つの世界しか見えていないのです。

地球で様々な修正が行われるたびに、実は新しい平行世界が地球に生まれてきているのです。

それは闇の創造主やダークピープル達によって様々な妨害が行われていない地球です。

あなたの目にはまだ見えていないかもしれませんが、本当にそのような素晴らしい地球がいくつも今の地球のパラレルワールドとして存在しているのです

その世界で生きているあなたはとても幸福で私達と共にアセンションの活動を行っています。

そしてその世界は今あなたが見ている世界よりももっと光に満ち溢れた世界になっているのです。」

私は、「グレートキング」の答えに内心少しばかり怒りを覚えています。

心の中で、今私達が生きている現実が変わらない事には意味がないと思っているからです。

「その事は分かりますが、どうして私達がその世界に移り変わる事ができないのですか。私が生きている世界を修復しているのですから、私が生きている世界がそのまま修復された世界にならないのですか。」

この事は非常に難しい問題のようです。

「グレートキング」もこの事を私達にどのように説明したらいいのか、困っているようです。

「TAKESHI さんが、本当に新しい世界に移り変わるという事をもっと深く意識してください。

皆さんによく闇が多い地球の考え方、習慣から脱却して下さいと私達はよく言います。実はこの事がとても大きなキーポイントなのです。

つまり闇の多い地球では現実世界は変わらないもの、現実世界は同じ時間の中を一つの方向にだけ動いているものと考えます。

しかしながら、現実世界はもっと柔軟なものなのです。

皆さんの意識の持ち方一つで皆さんの現実が変わるのです。

つまり皆さんの考え方が変わり波長が高くなってくると、今の地球からさらに波長が高い平行世界に皆さんは移る事になります。

そこは皆さんにとって理想的な世界であるかもしれません。

しかし皆さんは、自分が暮らしている現実世界が全てだと考えているために、その現実世界が変わらないように見えるのです。

皆さんが、今暮らしている現実世界は、同じような意識を持っている人達によって作られている世界です。

その多くの人達が今の現実がそのまま続いていくと信じているのです。

TAKESHI さんも、心の中でそのように信じられるように仕組まれてしまっているのです。

私達はその仕組みを解き放ち、人々の意識をもっと柔軟にする事によって、地球の人々が

アセンションした世界に移り変わっていけないのではないかと考えているのです。」

私達は、よくスターピープルともこのような会話をします。

この事が地球のアセンションの本質のようです。

私達は、この現実を変わらないもの、固定したものと考えているのですが、スピリチュアルな世界に生きるスターピープル達や創造主はそのようには考えていません。

私達が生きている現実、私達の意識が作り上げている世界だという事を彼らは私達によく言います。

しかしながら、私も一生懸命、アセンションした世界、この地球よりもさらに光が多い世界をイメージして、そこに生きる自分に意識を合わせようと思うのですが、長い間この物理世界に生きてきたために、その事が簡単にできずに困っているのです。

特に私は会社の経営をしているために、会社の経済状況によって一喜一憂させられます。もし私が会社の経営をしておらず、どこかで働いているだけであれば自分の求めている世界を実現するために自由に仕事を辞めたりする事ができるかもしれません。

しかし会社の経営者として、会社を運営しスタッフにお給料を払い、銀行への借入の支払いをしなければならない立場ですので、スターピープル達が言うように自分の現実はすぐに変えられると言っても、そう思えないところがあるのです。

それは、自分自身が作った枠組みの中から出られないだけかもしれません。

おそらくアセンションを求める地球人の多くが、私と同じような苦悩を味わっているのではないのでしょうか。

私はアセンションを引っ張っていく人間として、まず私自身が変わらなければならないと考えていますが、それができない事に大きな苛立ちを感じています。

私は「グレートキング」と話を続けます。

「わかりました「グレートキング」よ。あなたが言う事はとても正しい事です。しかしながら物理世界に生きて、スピリチュアルの世界が全く見えない私達にとっては、その事を実現する事は決して簡単な事ではないのです。

どうかその事が簡単にできるように、私達の中にある考え方や習慣そして物理的な世界を絶対だと思ってしまうような意識を皆さんの力で修正してもらえませんか。」

「グレートキング」も困ったような顔をしています。

「本来であれば、私達もそうしたいのですが、ただこればかりは皆さんが行わなければならないのです。

私達は決して皆さんの意識をコントロールしたり操作する事はできません。

それを行えばダークピープル達と全く同じになってしまうからです。

私達は皆さんが速やかに自分の意識を変え、自分の枠組みから出てくる事ができるようにスターピープルや大天使達にお願いして、皆さんがその事に気付くという事をサポートする事しか出来ないのです。

本当にもどかしい事なのですが、どうか自分自身でその事に気づき、そして新しい平行世界に入れるように努力をしてください。」

私はとても悲しい気分になってしまいました。

これだけスターピープルや創造主と共にアセンションの活動をしているにも関わらず、自分自身がアセンションした世界にまだ入る事ができないでいるのです。

PART3 フィオーレ族の思い

その時、ダークピープルからスターピープルへと生まれ変わった種族の者達が話を始めました。

私達は、彼らの事をフィオーレ族と呼ぶ事にしました。

「TAKESHI さん、本当に皆さんには私達は大変なご迷惑をかけてしまいました。

私達が謝っても謝ってもその罪を償う事はできないと思います。

私達は地球の人々が精神的な進化を遂げ、アセンションしないために、現世の TAKESHI さんだけではなく、過去生の TAKESHI さんや恵理さん、そしてアセンションを先導していく立場である人達に対して大変な抑圧や妨害を行ってきました。

多くのダークピープルや闇の魔導師、ダークエンジェルそして地球に生きる人達を利用して皆さん達を弾圧し皆さん達の活動を邪魔してきました。

本当に TAKESHI さん達が生命の危機を覚えた事も、全て私達が行ってきた事です。

私達は皆さんにどれほど償っても償いきれる事ができないほどの罪を犯してきました。

「グレートキング」によって私達は元のスターピープルに戻る事ができました。私達はこれから自分達が行なってきた事の罪を少しでも償えるように、地球に生きる人々そして皆さんの宇宙に生きる人々のために働きたいと思っています。

TAKESHI さんがおっしゃる事は、私達は十分にわかります。

なぜならば、あなたがそのように思う考え方や習慣は私達が作り上げたからです。

そして恵理さんのように、私達の姿を見出す可能性のある人達や高次元に繋がり創造主達や大天使達と共に活動できる人に対しても大変な妨害をしてきました。

恵理さんが様々なセッションを行うときに、相手を通して恵理さんに対して攻撃を行ってきたのも私達の指示です。

もちろん恵理さんだけでなく、高次元の存在に繋がり、ダークピープルやダークマスター達の姿を見る事ができる人達を追い詰めていったのも私達です。

そのために多くの人達が短命で死んだり、重大な病気を患って活動ができないようにした事も多くありました。

その事に対しても、私達は創造主と相談してどこまで修正行えばいいのかという事をこれから決めていきたいと思えます。

そして私達にできる事を精一杯行わせていただきます。」

私はこのフィオーレ族が語った言葉によって、今まで私達に起こった事が全て理解できました。

「私達はあなた方が行った事に対して、心の中では決して許す事ができないと思います。しかしながらそれはもう終わった事です。これから私達はまだ生きていかなければなりません。

子供達を育て、アセンションのために働かなければならないのです。

そのために皆さんが行った事、特に恵理さんや恵理さんの家族に対して行なった事を早急に修正してください。

そして恵理さんと同じようにスピリチュアル的に敏感な人達が、多くの人のネガティブなエネルギーを受けて苦しむ事なく生きる事ができるようにしてあげてください。」

実は恵理さんのお母さんは、沖縄のユタの家系に生まれたのですが、その家系の人達は筋肉が動かなくなる病気に侵され、重度身体障害者になったり早死にする人達がとても多いのです。

これも彼らが仕組んだ事なのです。

フィオーレ族は私達に対してうなずきました。

「私達は創造主や第1評議会のスターピープル達の皆さんとも十分に討議し、なるべく私達が行った事が修正されるようにしていきたいと思います。」と彼らは答えます。

おそらくこのフィオーレ族が今までのダークピープル達や「紫ピラミッド」の黒幕だったのでしょう。

「グレートキング」によってこのフィオーレ族がダークピープルからスターピープルに移り変わる事によって私達を取り巻く状況は180度転換したと思っても良いかもし

れません。

エレナさんはこのように言いました。

「このフィオーレ族は、今まで私達が知る事もできないレベルでこの地球のダークピープルや魔導師達そして闇のマスターさえもコントロールしていたようです。

私達が今まで戦っていたのは、このフィオーレ族によってコントロールされていたダークピープル達や闇のマスター達でした。

しかしながら、ダークピープルを生み出しコントロールしていた存在が、今光の存在に変わった事によって、私達のアセンションは全く違うレベルの進展を見せると思います。

私達はフィオーレ族がスターピープルになってくれた事に対して大変な喜びを持っています。

それはスターピープル達全ての者達にとっても同じです。

なぜなら彼らは私達の先祖のまた先祖であるかもしれないのです。」

私達はフィオーレ族と話をしながら、フィオーレ族が行った事に対して、とても大きな怒りや苦しみを覚えますが、フィオーレ族が私達の側に立って私達のサポートを行ってくれる事に対して大きな喜びも感じています。これで地球と私達の宇宙はアセンションに向かって大きく進展していく事でしょう。

しかしながらこの事を喜んでばかりはいられません。

自分達のボスであるフィオーレ族が急にスターピープルになってしまった事に対して、多くのダークピープル達が怒りを覚え、私達にサイキックアタックを行ってきました。

そしてこの地球に大きな規模で地震災害を起こそうと企んできました。

幸いスターピープル達が警戒していたために大きな地震災害にはならず済んだのですが、私達は彼らが起こした地震や私達を取り巻いている怒りのエネルギーによって体の節々が痛む思いに苦しめられていました。

しかしフィオーレ族が彼らの動きもだいぶ抑えてくれたようです

これから新たなアセンションの段階を私達は迎える事になります。

PART1 フィオーレ族について

その翌日、フィオーレ族が私のもとに訪れ、彼らからのメッセージを伝えてくれました。その内容を皆さんにそのままお伝えしたいと思います。

それでは私達フィオーレ族からのメッセージをあなたに伝えたいと思います。

まず私達フィオーレ族について皆さんにお話しさせていただきます。

私達フィオーレ族はこの地球に人類が生まれる少し前にこの地球に派遣されてきました。

私達は、光の創造主様によってこの地球へと呼ばれたのです。

この地球に、スターピープル達の統合の種族を生み出すための具体的な計画に関しては、あなた方もよくご存知だと思いますが、ミモーレ族のスターピープル達はその監督を行っていました。

私達はミモーレ族よりもさらに高い次元でこの地球と天の川銀河そして皆さんの宇宙全体を見守るために、他の宇宙からこの宇宙へとやってきたのです。

私達はその当時この地球に来た時、私達はもうすでにくつもの次元に自分達を存在させる事ができる能力を持っていました。

私達は、種族のすべての存在が一つの集合意識に繋がりながらも、いくつもの異なる次元

に同時に存在する事ができます。

私達は、「グレートキング」様によって、再びスターピープルへと戻していただいたので、現在、光の創造主達の各評議会に私達の分身を生み出し、宇宙のすべての次元を調べる事ができます。

そして、私達は全てが集合意識につながっていますので、各分身から得られた情報は集合意識に蓄積され、分身すべてが共有する事ができます。

この形態は、私達にとっては本質的な存在の仕方なのです。

私達の集合意識は、必要に応じて、様々な世界の状況に合わせた形態の私達を生み出す事ができます。

物理世界で何かするべき事があれば、物理世界で活躍できる私達を生み出しますし、高次元の創造主やスターピープル達の世界で問題があれば、私達はその次元に適した姿を取って活躍する事ができます。

そのような私達の特質を生かして皆さんの地球と宇宙を監督するために創造主様が皆さんの宇宙へと私達を派遣したのです。

私達は、ミモーレ族を中心として天の川銀河のスターピープルが新しい地球人を生み出し、新たな統合の種族を育てる事を見守るように創造主様から命じられました。

私達はいつものように、いくつもの次元に私達を存在させ、地球と皆さんの宇宙を細かく見ていたのです。

しかしながら私達を派遣した創造主様は、皆さんの宇宙にとっても力の強い「闇に堕ちた創造主」が関わっているという事に気づいていませんでした。

私達も初めはその事に気づいていなかった

のですが、様々な次元を私達が探索し、調べている時に、これは少し状況がおかしいという事に気づきました。

私達が調べていくと、支配欲に満ちた「闇に堕ちた創造主」が隠れて皆さんの宇宙をコントロールしていたという事が分かったので。

私はすぐにその事を、私達を派遣した創造主様に報告しようとしたのですが、その時点で「闇に落ちた創造主」に私達は捕まってしまったのです。

この創造主は 私達がこの宇宙に呼ばれた時点から、私達の存在に気づいていました。そして私達が自由に活動する事によって、やがて自分達の存在も知られるという事に恐れを抱いたのです。

そのために私達はこの「闇に堕ちた創造主」によって捕らえられました。

私達の遺伝子は操作され、闇の多い遺伝子を私達の中に組み込まれてしまいました。

そのために私達は光の創造主様とのつながりを断たれ、闇の創造主によって支配される事となってしまいました。

私達をこの宇宙に派遣した光の創造主様は私達がいなくなった事に気づき、私達の事を一生懸命探してくれたようです。

しかしながら「闇に堕ちた創造主」によって、私達の波動は光の創造主様が接する事ができる波動よりもさらに低い波動へと変えられ、私達からは光の創造主様は見えるけれど、光の創造主様からは私達は見えないというような状況になってしまったのです。

光の創造主様とスターピープル達も私達の事を一生懸命探してくれましたが、私達の事を見つける事ができませんでした。

そのために私達は大きな失望を抱きました。私達は非常に探査能力に優れ、そして様々な能力を持っていますが、私達の精神はホーリー族などに比べそこまで強かったわけではありません。

そのために「闇に堕ちた創造主」によってコントロールを受け、地球の人達が進化しないようにまたアセンションしないように妨害をする役目を担わされてしまったのです。私達がもしその役目を拒否するならば、私達の存在はもうすでに無くなっていた事でしょう。

また私達は「闇に堕ちた創造主」の指令を拒否する事ができないように意識操作も受けてしまいました。

そして地球人が「闇に堕ちた創造主」達によって遺伝子を操作され、スターピープルの遺伝子が活性化しないように手伝いもさせられました。

また多くのスターピープル達を捕らえ、その遺伝子をダークピープルの遺伝子へと組み替えられる事によって、この天の川銀河に多くのダークピープル達を生み出しました。その者達はこの地球だけでなく他の多くの星々にも関わり、天の川銀河をとっても闇の深い物にしてしまったのです。

そして長い間、私達は「闇に堕ちた創造主」とともに働きました。

そしてその間に「闇に堕ちた創造主」の意志そのものが、私達の潜在意識そのものへと変わっていったのです。

そのために皆さんの宇宙の光の創造主やスターピープル達がたくさん闇に引き込まれ、闇に堕ちた創造主へと変わっていきました。

皆さんが「闇に堕ちた創造主」を次々と光へ

と返していく様子も見ていました。

しかしながら皆さんが行ったやり方では「闇に堕ちた創造主」は決してなくならないのです。

彼らは光の部分を取り除かれ、さらに強力な闇そのものとなって皆さんの宇宙に存在しました。

そして皆さんが「闇の皇帝キング」と呼んでいるとても強力な力を持った創造主によってその闇は吸収され「闇の皇帝キング」のさらなる力となっていたのです。

私達は光の創造主様が行なっている事、スターピープル達が行っている事もすべて闇の皇帝キング」に報告してきました。

そして「闇の皇帝キング」の指示のもとに、地球と皆さんの宇宙のアセンションの妨害を行っていたのです。

しかしながら私達の活動を指示していた「闇の皇帝キング」も、もうすでにいなくなりました。

そして私達が生み出した「紫ピラミッド」も解体され、残されたダークピープル達も本当に少なくなり、皆さんのようなアセンションを行う人達とは接する事ができないような世界へと送り込まれました。

私達は仲間を失い、そして創造主様を失いましたが、私は自らの意志のもとに皆さんの活動を妨害しておりました。

しかしながら私達はずいに皆さん達に発見され、私達が行ってきた事も明らかにされました。

私達の潜在意識はある意味その事を望んでいたのです。

私達の潜在意識は「闇に堕ちた創造主」によ

ってコントロールを受け闇の創造主の意識と一つに繋がるようになっていました。

しかしながら闇の創造主達がいなくなった後に、私達本来の意識も少しずつですが取り戻す事もできてきたのです。

その意識は私達が光の創造主様に見つかり、私達本来の存在へと戻る事を望んでいました。

皆さんから私達が見つかった事は、私達の集合意識にとってはとても好ましい事だったので。

私達は「グレートキング」様によって「闇の皇帝キング」によってコントロールされていたエネルギーや集合意識の操作を解き放たれました。

そして「闇の皇帝キング」のエネルギーを、私達の集合意識から抜き出す事によって、私達は本来のスターピープルへ戻る事ができたのです。

そして TAKESHI さんの助言により、私達は本来の集合意識からいくつもの次元に関わる意識を生み出し、それぞれの次元で私達が今まで行なってきた事をもう1度調べています。

その時の私達は、闇の大きなエネルギーによって支配されていたので、私達が今まで何をやってきたのかという事に関して全てをしっかりと覚えているわけではないのです。

私達の意識とは異なる意識によって動いていたために、その意識が何を行ったのか、その結果この地球はどうなったのかという事を今改めて調べています。

そしてその事を創造主様とスターピープルの皆さんにご報告し、どのような処理を行えばよいのかという事を相談して、私達自らそ

の処理を行っていきたいと思います。
皆さんがもっと物理次元をしっかりと調べ、
物理次元で私達が行った事の修復を行って
くれと言った事はまさしく私達の願いでも
あります。
私達は全ての事を処理し、私達が犯した罪を
贖いたいと願っております。

PART2 アセンションした世界へ統合される道

それでは次にあなたの中にとっても大きな不
満と言うか心配事があります。
その事についてお話ししたいと思います。
つまり過去に遡っていくつもの問題点を処
理したとして、皆さんの現実世界がどのよう
に変わっていくのかという事です。
実はこれは大変大きな問題です。
私達が様々な問題点を処理する事によって、
その問題が起きなかった未来というのが生
み出されてくるのです。
しかしながら、皆さんが現実世界に生きてい
る以上、その処理が行われなかった現実とい
うものが皆さんの中には引き続き存在して
います。

私達が処理を行う事によって、皆さんが存在
している現実が、すべてその瞬間に望ましい
現実に変われば良いのですが、皆さんの意識
がそれを認めていないのです。
つまり一瞬のうちにすべてが変わるとした
ならば、この物理世界に生きる多くの人達が
混乱してしまいます。
例えば今まで家族として生活していた者達
が一瞬のうちにいなくなるかもしれません。

あるいはあなたが毎日通っている職場も幻のように消えているかもしれません。

その代わりに、本来あなたがあるべき家族や職場がそこに存在しているのですが、あなた方はそれを見た時にそれが自分にとって理想的な世界であるという事に気づきません。

それよりも今まであったものがなくなった事、今まで自分が生活していたスタイルが失われた事に対して大きな恐怖や不安を持ちます。

そして多くの人達がパニックとなり、皆さんの物理世界が崩壊する可能性もあります。

そのために創造主達は過去に戻って問題を処理した場合には、その時点で新しい平行世界が生み出されるという仕組みを作ったのです。

皆さん達が体験している世界はそのままですが、それとは違う理想的な世界が新たに生み出されていったのです。

大切な事は、今までの世界で生きていた人達が、その異なるパラレルワールドにどのようにして入っていくのかという事なのです。

その平行世界にも TAKESHI さんや皆さんが存在しています。

肉体を持たずに、スピリチュアルレベルだけで存在している者達にとっては、問題はさほど難しくありません。

スピリチュアルレベルで存在している者達は自分が生きる世界、自分が本来存在すべき世界をよく知っていますので、その世界に自由に移り変わる事ができます。

スターピープル達の多くがもうすでに新しい世界へと移り変わっています。

しかしながら現実世界に生きる人達はその

事がすぐにはできません。

時として 皆さんが肉体を失って生まれ変わる時に、新しい世界に生まれ変わるという事はよく起きています。

物理世界に生きている人達が、本来の世界に戻るやり方というのは実を言うとこのようなやり方しか今までありませんでした。

しかしながら この変化に気づいている人達、地球が闇の創造主やダークピープル達によってコントロールを受け、そして今その修復が行われて、新しい地球が生まれているという事を知っている人達は、皆さん以外にはいないのです。

そのために地球人の多くが、肉体を失って生まれ変わる時に、本来の地球へと生まれ変わる事ができれば全く問題がないのです。

しかし皆さんは、自分の肉体を捨てて新しい地球に生まれ変わるまで待つわけにはいきません。

地球の中でも肉体を持ったままアセンションしなければならない人達もいるからです。そのような人達に関してどのように処理を行っていくのかという事を私達は今創造主とともに話し合っています。

そして一瞬のうちに皆さんを新しい現実へと移し替えるという事は少し無理があるようです。

ただ皆さんの意識がどんどん高い波長の意識に変わっていく事によって、今の皆さんの現実世界が大きく変わり、短期間のうちに本来の平行世界に統合されていくというやり方を取る事になりました。

簡単な言い方をしますと、現在地球に住んでいる多くの人達は今までと同じ人生、同じ生き方をします。

そしてその多くの人達が今までと同じ地球に残る事になります。

また肉体を捨てる事によって新しい地球に入っていく人達もたくさんいます。

しかしながら、少数の人達は肉体を持ったままアセンションしますので、今までの地球の流れから枝分かれして新しい特別なアセンションの道というものを進む事になります。その道は今のあなた方の現実から新しい現実へと移り変わるための道です。

あなた方がこの道を歩む事によってスターピープル達と出会い、そして皆さんの社会が大きく変わり、皆さんの意識や皆さんの肉体、そして波動も大きく変わります。

そしてその変化が十分に起きた頃に、私達は創造主が修正したダークピープル達や「闇に堕ちた創造主」達が関わらなかった地球に皆さん達は統合されていく事になります。

つまりアセンションによって新しい地球、本来の自分に統合していくための道が生み出され、皆さんはその道を歩む中で急速に変化をしていく事になります。

そして皆さんが生きているうちに、新しく生み出された地球に合流していく事になります。

新しい地球に合流するために、場合によっては今までの家族を捨てて新しい家族を得る人達もいるかもしれません。

それは本来であればアセンションする人達が出会うべく人と出会い、本来の家族を生み出したという事実を作っていく事になるかもしれません。

家族というものはお互いが同じ世界に行く事を前提条件としてこのアセンションした世界では生み出されていくからです。

TAKESHI さん達はいち早くこの物理世界でその事を成し遂げました。

本来恵理さんや美輝さん、結貴さん達とあなたは家族となる運命だったのです。

あなたはその家族をこの物理世界でもすでに手に入れた事になります。

そして皆さんの周りに起きていた様々な問題もこれからどんどん解決していきますので安心してアセンションへの道を進んでいってください。

PART3 「アセンションへの道」を歩んでください

そしてこれは TAKESHI さんから多くの人達へと伝えてもらいたいメッセージです。

光の創造主と私達スターピープルはこの地球に新たなアセンションへの道を設定しました。

私達が地球に生まれた人々や地球に来たスターピープル達に起きた不幸な出来事を修復した事によって、この地球と皆さんの宇宙は、新たな地球、新たな宇宙を生み出す事ができました。

それは「闇の創造主」やダークピープル達が支配する事が無かった地球です。

そこではもうすでに地球人はスターピープルとして活躍しています。

私達は、皆さんをその地球にご案内したいと思っています。

もちろん今までの地球も、今までの宇宙も存在します。

今までと同じ地球にこれからも生きていきたいと願う人達がこの地球で生きるためです。

しかしながら本来スターピープルとしてアセンションするためにこの地球に生まれた人達、自分達の意識を進化成長させるためにこの地球にやってきた人達は、その人達が本来望むべき世界へと移り変わる事ができるようになりました。

それは皆さんが「闇に堕ちた創造主」やダークピープル達の関与がなければ、このような世界になっただろう、このような地球人として進化しただろうと予測される世界へ皆さんが移り変わっていく事ができるようになったという事です。

皆さんはどちらの世界に行くのか、自分自身で選択する事ができます。

今までの闇の多い宇宙、私達が問題点を修復しない地球に生きる事もできます。

また「闇の創造主」達の関与が無かったように修復された地球、光が多いアセンションした地球に行く事もできます。

もちろん皆さんはすぐその世界に入る事はできませんので、私達は今の皆さんの現実からこのアセンションした地球へと向かう架け橋のようなものを作りました。

それは私達が「アセンションへの道」と呼んでいるものです。

地球が本来そうであったようなアセンションした世界に入ろうと思う人達は、今の闇の多い地球からこの新しい道を歩んでいかなければなりません。

「アセンションへの道」では今までの現実が

ら異なる現実に入るための様々な調整が行われます。

その世界では、皆さん達はスターピープル達の手助けを現実世界で受けて、皆さんの意識が成長するように、特に皆さんの憎しみや苦しみなどの感情が愛や喜びの感情に変わるようにサポートいたします。

スピリットレベルで光の世界に行く事を決めている人達の中でも、肉体の意識では全く何も気付いていない人達は、彼らが肉体を捨てて生まれ変わる時に光の地球に入る事もできます。

現在の地球の状況では、アセンションした世界に向かう多くの人達はそのような方法をとる事になるでしょう。

しかしながらこの地球のアセンションは、肉体を持ったまま地球人がアセンションするという事が大切な目的となっていますので、この現実世界で精神的な進化や愛を高める事を行いながら、皆さんをアセンションした世界へと合流させていかなければならないのです。

そのための様々な作業を私達は皆さんと共にやりたいと思います。

肉体を持ったままアセンションした世界に入る人達にとっては、これから思いがけないような事が起こります。

スターピープル達と出会ったり、自分の過去や過去世の問題をクリアリングしたり、場合によっては、今までの人間関係を清算して新しい家族を迎える人もいるかもしれません。本当に皆さんが共に歩むべき人と出会い、新たな仲間を作り出す事もこの「アセンションの道」では起こります。

私は皆さんにお願いしたい事があります。
この「アセンションへの道」に入るためには、
皆さんの意識がある程度変わっていかなくてはならないのです。

「アセンションの道」は今まで皆さんが生きてきた世界よりも一段高い場所にあります。
その一段高い場所へ皆さん自身が移動してもらわなければならないのです。

TAKESHI さん達がよく言っているように、
光51%以上の世界に入るためには大きな壁があります。

その壁は皆さんの感情です。
そして皆さんの意識のあり方です。

私達はよく光が多い世界での習慣や考え方を学んで下さいと言います。

今まで皆さんは闇が多い世界に生きてきたので、闇が多い世界で作られた習慣や条件づけのもとに生きてきました。

誰かに依存する事や自分の特殊能力を伸ばして利益を得たいと思う事、あるいは手軽にお金をもうけて豊かな生活をしたいというような事、そして一番大きな習慣は現実生活は変える事はできないのだというような考え方です。

現実世界はもっと柔らかいものです。

もっと柔軟です。

私達はこの現実世界が柔軟だからこそ「アセンションへの道」を設定して、皆さん1人1人が本来のアセンションした世界に合流するような現実世界を作り出す事ができるのです。

しかしながら皆さんが現実世界は変える事ができない、私自身を変える事ができない、自分がいる場所から変わる事ができないと

考えていれば、皆さんはこの「アセンションへの道」に入る事はできません。

なぜならば、そのような人は、自分の意識が変わらない事、変化をしない事を望んでいるからです。

「アセンションへの道」に入るためには現実世界は自分の意識で変える事ができる、自分が望んだ世界が現実になるという事を確信しなければなりません。

そして自分自身は光の多いアセンションした世界に移り変わっていくために十分な資質を持っているという事を信頼しなければならないのです。

自分自身に対する自己否定やネガティブな気持ちを持っているはこの「アセンションの道」へと入る事ができません。

また闇の多い世界特有の考え方、物理世界にフォーカスして、物理世界の豊かさばかりを追い求めるような考え方をしていてもこの「アセンションの道」へと入る事はできません。

アセンションした世界は物理的な欲望よりも精神的な愛を大切にする世界ですから、そこで既に波動が変わってしまうのです。

アセンションした世界は愛の波動を持って見なければ見えない世界です。

愛を軽んじている人や愛を見失っている人達には、このアセンションした世界へ続く道というのは見えません。

ですから TAKESHI さんが何度も何度も言ったように、憎しみや苦しみ、悲しみの感情を捨てて愛の波動に意識を統合してください。

今までは闇の存在達やダークピープル達に

よってその事が妨げられてきました。
皆さんが愛や慈しみの気持ちを持たないように、皆さんの心に様々な欲望を植え付けてきました。
そして、あなたが憎しみや苦しみ、悲しみを心の中で引きずるために、様々な罫や過去を生み出してきました。
しかしながらそう言った事は全て「アセンションの道」に入れば幻となります。

あなた自身がその事に影響を受けなくなるからです。
どうかあなたの中に残っている憎しみや悲しみなどの感情があればそれを全てクリアリングしてください。
そして愛の意識、感謝と喜びの感情に自らの身を委ねてください。

この事が今までは難しかったかもしれませんが。
しかしながら、これからは私達がサポートさせていただきたいと考えています。
今までのように皆さんが光の世界へ歩む事を邪魔する者達はもうすでにいなくなりました。
そして皆さんが本当に素晴らしい世界へと歩いていく事ができるように、私達は皆さんを指導し導いていくのです。

その事によって皆さんは今までよりももっと簡単に意識を成長させ、「アセンションへの道」を進んでいく事ができます。
今まで皆さんがアセンションする事を妨害していた存在はもうすでにいなくなりました。
そして皆さんをサポートする力強い仲間達が増えたのです。

皆さんは安心して光の世界へと入って行く事ができます。

その事を信頼して、現実でも私達と共に光の世界へ入る方法を自分達なりに探し実現してください。

2019年6月24日 TAKESHI

第8章 地球の未来で出会う

種族達

PART1 地球の未来で出会う種族達のメッセージ

私が、前章の「フィオーレ族からのメッセージ」を編集しているときに、恵理さんにコンタクトを行ってきたスターピープル達がいきました。

彼らはどうやら、フィオーレ族がスターピープルとなって、様々な問題を修復した地球の未来から来たようです。

つまり、これからアセンションする地球の未来ではなく、「闇に堕ちた創造主」達の関わりがなく、もうすでにアセンションしている地球の未来から来たスターピープル達のようにです。

それでは、彼らの言葉に耳を傾けてみましょう。

私達は皆さんが、皆さんの宇宙を闇で覆っていたフィオーレ族を見つけ出し、彼らを本来のスターピープルに返した事によって、皆さんの地球と宇宙の現実を大きく変える事に成功いたしました。

もしフィオーレ族を見つける事なく、皆さんがアセンションを進めていったならば確かにアセンションには成功したかもしれませんが、それはまだ闇が多い地球から確実に光の地球をうみだすものとはならなかったでしょう。

あなた方が光 51%以上の世界に行ったとしても、フィオーレ族は自由にその世界に入る事ができます。

彼らは様々な次元、様々な世界に自由に入る事ができるという特質を持っているからです。

彼らは自分に必要な次元の場所に自分自身の存在の形態を合わせる事ができます。

そうする事によって光51%以上の世界に対しても、彼らは多くの干渉を行い、皆さんのアセンションの進行を止める事はできないにしても、その進行を遅らせたり様々な妨害を行う事ができるのです。

もちろんその事も限界があります。

皆さんが光 61%以上の本来のアセンションした世界に入る時になれば、もうそれ以上の世界にはフィオーレ族は入る事ができなくなります。

そして光61%以上の世界からは皆さんが本来望むべき進化が行われるのです。

しかしながらフィオーレ族がダークピーブルのまま存在していたとすれば、あなた方が光61%以上の世界に移り変わるために、とても長い時間をかける事になっていた事でしょう。

それはどのくらいの時間になるか分かりませんが、もしかしたら 1000 年や 2000 年の間、皆さんは光 51%台の世界で行きつ戻りつしていかなければならなかったかもしれません。

そしてたとえ光61%台の世界に移り変わったとしても、その時の苦しみや悲しみを引きずったままあなた方はアセンションしていく事になりますので、その後の成長というものがかなり異なったものになります。

今フィオーレ族が皆さん達の手によってスターピープルに変わる事ができましたので、皆さんのアセンションの進行を妨げるものはなくなります。

そして皆さんが闇の創造主やダークピープル達によって邪魔されていない宇宙に移る事ができれば、その時点でとても大きな変化が現れます。

つまり皆さんがフィオーレ族や創造主が修正した宇宙に入れば、ここはもうすでに第1アセンションが終わっている世界です。

そしてまもなく地球人達は第2アセンション、第3アセンションを迎える事ができます。なぜなら「闇に堕ちた創造主」やダークピープル等による介入がなかったため、地球人が生み出された本来の目的に沿って地球人は素直に進化しているからです。

それはレムリアやアトランティスよりも遙か以前の時代に地球人が生み出された時、シリウス、プレアデス、アンドロメダなどの優秀なスターピープルの遺伝子を持って皆さんが作られ、そしてその目的通りに進化を果たしていたからです。

おそらくレムリアの時代には皆さんは第1アセンションを迎えていると思います。

そしてこの時代に地球は第2アセンションを迎え、地球人は肉体を持ったまま他の宇宙へと旅したり、優秀なスターピープル達と共に、これからアセンションを迎える人達をサポートしているような時代へと入っているのです。

地球人の進化にとっては、何万年かの時間が、そこで修正されています。

皆さんがこれから第1アセンション迎えるのは、今の状況ではまだまだ先です。

ようやくアセンションを迎える世界にたどり着いて、これから自分達をさらに進化させ、愛の世界と繋がった後に第1アセンションを迎えます。

今の皆さんの状況ですとこれは何百年かもしくは1000年か2000年後に行われる事です。

そしてそこから2000年さらには3000年以上かけて地球人は進化し、ようやく第2アセンションを迎える事となるのです。

しかしながらフィオーレ族が、スターピープルに変わった事によって、皆さんの過去が修復され、その時間が大きく変化してきます
そうするとこれから未来はもっと大きく変わります。

皆さんがよく知っているクリスタルピープル達も、もっと速くそしてもっと純粋な形で生まれてきます。

そうすると地球はさらに大きなアセンション迎え、皆さんの宇宙共々、新しい宇宙へ移り変わっていくのです。

私達はその時に皆さんと出会う予定となっている宇宙の者達です。

皆さんがよく知っている「アセンションの扉」というものが、あなた方の何番目かのアセンションの時に開かれ、そして私達と出会う事になっています。

私達の宇宙は「グレートキング」によって生み出された宇宙ではありません。

「グレートキング」が学びのために、いくつかの宇宙を旅していたという事を皆さんは聞かれたと思いますが、「グレートキング」

が学びを得たいと思っていた宇宙の者達です。

私達は皆さんが本当に素晴らしい存在になる事を見守っています。

私達は「グレートキング」に学びを与えるような事はしませんでした。

それは他の創造主が皆さんの宇宙で行った事です。

ただ私達は「グレートキング」が生み出した宇宙の中で、本当にこれから素晴らしい宇宙に移り変わっていく可能性がある宇宙を見つけたのです。

それが皆さんの宇宙です。

私達は皆さんが順調に成長していくように今も見守っています。

そしてやがて私達との間に「アセンションの扉」を開き、正式に私達が交流を持つ事ができる事を望んでいます。

私達と皆さんが交流を持つ事によって、皆さん達はさらに高い意識へと移り変わっていきます。

そして皆さんの宇宙だけでなく他の宇宙に対してもとても有効なサポートを与えられるような存在達に皆さんは移り変わっていく事ができるのです。

フィオーレ族がスターピープルになる事によって、その実現は、本来計画されていた時期よりもさらに早い時期に起こる事になりましたので、今私達は皆さんの元に現れる事ができるようになりました。

私達から皆さんにお伝えしたい事はたくさんあります。

しかしながら、皆さんの意識レベルでは、私

が言っている事のほんの一部でさえもまだ理解できないと思います。

それはまだ皆さんが「闇に堕ちた創造主」やダークピープル達によって作られた現実の中にいるからです。

TAKESHI さんをはじめ多くの人達が、光40%台の習慣や考え方から抜け出そうと必死でもがいています。

皆さんの中に植え付けられた「現実を変える事ができないもの」そして「自分自身は大きな力を持たない弱いもの」というような考え方が皆さんの心の中に埋め込まれています。そしてその思いによって、皆さん達の現実が作られています。

私達にとってみれば、それは皆さん達が持っているネガティブな意識によって作られた現実には過ぎないのですが、皆さんにとってはそれがすべてであるかのように思われてしまうのです。

皆さんは確かにスピリチュアルな世界を見る事ができません。

現実世界しか見る事ができないのです。

そのために皆さんがそのように思うのは仕方がない事かもしれません。

皆さんはその幻想を打ち破る術を持っていないからです。

しかしながらフィオーレ族もメッセージで伝えてきたように、その幻想を打ち破る事なくしては、アセンションした世界に移り変わる事は不可能なのです。

スターピープルや光の創造主達がどれほどあなた方の事を助けようとも、あなた方の力で打ち破らなければならないものもあります。

フィオーレ族がスターピープルに変わる事によって、あなた方の意識の変化を妨げていた者達あるいはあなた方の現実を強固に作り上げていた者達はいなくなりました。

あなた方がその現実を虚構のものだと知り、打ち破る事ができれば、あなた方は変わる事ができるのです。

今まではあなた方にはその事を打ち破る力がありませんでした。

あなた方以上の力で、あなた方がその虚構を打ち破る事を妨害していた存在達がたくさんいたからです。

しかしそのような存在達がいなくなる事によって、あなた方はその虚構の現実というものを打ち破る事ができるようになります。その方法に関してお伝えしたいと思います。

静かに目を閉じて自分が理想とする世界を想像してください。

そしてその中に自分を移し替えていくと言う事を繰り返し繰り返し行なってください。自分の中で自分の現実が変えられないという思いを毎日毎日打ち消していくのです。

これはとても地道な事ですが、あなた方の中でイメージしてください。

「本当の世界に移り変わりたい。」

「本当の世界に自分が生きている間に移行したい。」

あるいは「今すぐにでも新しい世界に移り変わりたい。」

というような事を強く心に思うのです。

もちろん自分がそのような世界で活躍している姿を想像する事は一番効果があります。そして自分の幻想を打ち破る事、その事を心に強く念じてください。

そして物理世界の苦しみや悲しみがたとえあったとしても、そこにフォーカスせずにスターピープル達が準備している流れに乗る事です。

流れに乗るという事は、自分が苦しみや悲しみを感じる方向ではなく、自分が喜びを感じる方向に自分の視点を向けていくという事です。

それは単に自分がワクワクする事を行うという事ではありません。

自分にとって理想的な未来、理想的な人生をどのように構築していくかという事を考える事でもあります。

軽はずみな感情で行うのではなく、自分自身の理性と英知をしっかりと使って自分自身が生きる道を思い描いてください。

必ずあなた方をスターピープル達はサポートします。

今まではそれが十分にできずに皆さんにはとても悔しい思いをさせました。

そして中にはもう自分自身が変わる事を諦めてしまった人達もいるかもしれません。

それも当然です。

今まではスターピープル達のを能力をはるかに超えた存在達があなた方を管理していたからです。

しかし何度も言いますが、これからは違います。

皆さんは自由になり解放されたのです。

そして皆さんの心がもっと自由になり、この現実世界の幻想を打ち破る事ができたならば今度は私達も皆さんに対してもっと手を差し伸べる事ができます。

また私達とあなた方がコンタクトを望むのならば、それも可能になります。

私達にとって時間は皆さんと同じような概念ではありません。

私達は皆さんが進化した世界、皆さんの新しい現実の遥かな未来に皆さんと出会います。しかしながら、私達は皆さんの過去にもそして今にも、未来にも自由に存在する事ができるのです。

未来において、皆さんと共に存在する事ができれば、皆さんが存在している「今」にも、皆さんと共に存在する事ができます。

また皆さんの過去にも存在する事ができます。

私達にとってそれは同じ事なのです。

あなたがたと共に存在するという事を考えるならば、あなた方にとって過去や現在、未来全てに同時に存在する事ができるのです。

しかしながら今私達はまだ皆さんに多くの事を語りそしてサポートする事は許されていません。

私達は、私達ができるギリギリのところまで皆さんをサポートしそして導きたいと考えています。

2019年6月24日

第9章「宇宙を崩壊させる宇宙」の創造主の暴挙

PART1 予期せぬ出来事

私達は「未来からきた種族」からのメッセージを聞いて、私達の宇宙がどれほど素晴らしい宇宙に移り変わっていくのだろうかと大きな期待を持っていました。

しかしながら自然の摂理というものはそう簡単にはうまくいきません。

地球自身も様々な修復を受ける中で成長し、そして自らに関わってきた様々なネガティブな存在達を切り離していかなければならない事になっていたからです。

しかしネガティブな存在達を切り離す作業というのは、私達の地球や宇宙にどのような存在が関わってきていたのかという事をまず明らかにしなければなりません。

2019年6月から7月の時点において、私達の宇宙や地球に関わっている存在というのはとても力を持った創造主達ばかりとなっていました。

それも「グレートキング」が自らを成長させるために、自分が創造した宇宙以外の多くの宇宙を訪ね歩いた事によって、いくつもの宇宙の創造主達が私達の宇宙に入ってきて私達の宇宙で多くの問題を起こしていたからです。

その中でも、良心的な創造主達がおこした軽度の問題は修復を行う事ができましたが、まだ私達が分からないレベルで「グレートキン

グ」の学びのために問題を起こしている創造主達が残っている可能性も否定できません。しかも彼らはスピリチュアルレベルでは大変うまく姿を隠しています。

そして私達を通して地球に関わろうとしてきますので、そういった創造主や闇の存在達を見つけるためには、私達が彼らからのサイキックな影響を受ける事で、その存在を明らかにしなければならぬのです。

6月後半の頃、私達がある方のセッションを行っていた時にとっても大きなサイキックアタックが私達に起こりました。

私達のセッションを受けている人が、意図せずして闇の存在と繋がってしまったために、そのつながりを利用して、闇の存在達が私達に大きなアタックをかけてきたのです。

いつもは、大天使達やスターピープルがある程度防御してくれているので、それほど大変な事にはならないのですが、今回は通常のダメージなど問題にならないほどの強いアタックでした。

おそらく闇の創造主が直接関わってきたかもしれません。

そのために恵理さんは胸が苦しくなり呼吸を十分に行う事もできなくなってしまいました。

そして意識も遠くなる中でセッションは終わったのですが、それから後、すぐに彼女は、体調がわるくて倒れてしまいました。

翌日かかりつけの病院に行くと、恵理さんを調べた先生が不思議そうな顔をして言いました。

「この症状は急性肺炎に間違いはないのですが、何の予兆もなくこれだけ酷い急性肺炎

になる理由が分かりません。

通常は風邪などをこじらせてから急性肺炎に移行するのですが、その兆候があなたの場合にはないので原因が特定できないのです。本来ならばすぐにでも入院してもらおうところですが、今日は土曜日で病院も空いていないので、とりあえず点滴を行って様子を見ましょう。」

お医者さんも何の前兆もなくこのような肺炎状態が起こるといふ事にとても違和感を持っていました。

肺炎の場合には通常風邪をこじらせて急性肺炎になる事が多いのですが、西洋医学的に見ると理解できない現象であります。

しかしスピリチュアルな面から見るとサイキックアタックというのは常にこのような症状を引き起こします。

大きなネガティブなエネルギーを受けると、内臓の機能が急激に低下して、死の危険性さえも起こしてしまうのです。

私達は、そのような危険な目に何度もあってきましたので、今回も急性肺炎だけでおさまってよかったかもしれません。

彼女はその後も数日の間、点滴に通って体を休めていました。

私達は、恵理さんの体調が回復してくると、このサイキックアタックを行った存在達を探し出す事にしました。

私は、時間を自由に扱う事ができる「流れを作る創造主」を呼び出し、私達がサイキックアタックを受けた時間までさかのぼり、誰が私達にこのような攻撃を行ったか調べました。

そうすると物理世界の闇の存在達を通して、

闇の魔導師が私達に攻撃を行っている様子が恵理さんのビジョンの中に映し出されました。

そしてその奥に今まで見た事もないとても強いパワーを持った闇の創造主がいたので

す。その高次元の闇の創造主は、私達の宇宙の創造主ではありませんので、すぐに「グレートキング」がその事に気づき、その創造主のもとに行きました。

今回この問題を引き起こしたのも、やはり「グレートキング」の学びのために、私達に関わってきた創造主かもしれません。

彼らは、「グレートキング」の学びのために私達の宇宙に入ってきて様々な問題を引き起こしていますので、自分達が発見され、自分達が行った事が明らかにされれば彼らの目的は果たされた事になります。

しかしながら今回の創造主は少しばかり様子が違うようです。

「グレートキング」が、困ったような顔をして私達に報告をしてくれました。

「TAKESHIさん、恵理さん、皆さんに本当にご迷惑をかけてしまい申し訳ありませんでした。

恵理さんに対して、これだけ大きなサイキックアタックが行われた事に関して、私達はとても申し訳なく思っています。

第1評議会のスターピープル達や大天使達が一生懸命防御してくれたのですが、それでもこれだけ大きなダメージが恵理さんに残っていたために、私達はすぐにその状況を調べました。

そうするとやはり私に学びを与えようとしてこの宇宙に入ってきてくれた創造主達が、

私達の宇宙にまだ存在していた事がわかりました。

これは私が作った原因ですので、私の方で責任をもって処理したいと思います。」

そして「グレートキング」は、またその創造主のもとに行きました。

そして、どのような宇宙の創造主が、この創造主を地球に送り込んできたのかという事も調べていました。

しかし今回は少し話がうまくまとまっていないようです。

しばらくしてキングは私達の元にまた報告に来てくれました。

「TAKESHIさん、恵理さん、私がこの創造主と話をして分かった事は、実はこの創造主はとても厄介な創造主だったのです。

というのもこの創造主が属している宇宙は、他の創造主のように少しばかりの問題や困難を与えて成長させるというのではなく、徹底してその宇宙にダメージを与え、自分達がその宇宙を侵略する事によって、それを乗り越えさせるというようなタイプの創造主なのです。

多くの宇宙の創造主がこの破壊的な宇宙の創造主と関わる事を非常に恐れていました。私も様々な宇宙を訪ねた時に、この宇宙には立ち寄りたのですが、他の宇宙を私が回っているという事をこの宇宙の創造主が聞きつけて、私がお願いしていないにもかかわらず私達の宇宙に関わってきてしまったのです。」

「グレートキング」はとても困った顔をしています。

このままでは、この創造主との話し合いが上手くいかず、私達の宇宙が侵略を受けてしまうかもしれません。

そうなってしまえば、「グレートキング」や私達の宇宙の創造主達では、私達の宇宙を守る事はできないでしょう。

私は「グレートキング」を生み出した創造主に、問題の解決をお願いする事にしました。

「グレートキング」を生み出した創造主を呼び出して私は言いました。

彼は、私達の宇宙だけでなく多くの宇宙を創造する創造主を産み出した創造主です。

「今回私達に関わってきた創造主は、「グレートキング」でもうまく処理ができないようです。

彼らは、非常に高次元の存在であり、そして非常に容赦のない学びを与える創造主であるとの事です。

このままでは恵理さんの体も良くなりませんし、地球だけでなく私達の宇宙にも困った問題が引き起こされる可能性もあります。

どうかあなたも「グレートキング」に協力して、この創造主を排斥してもらえるようお願いできませんでしょうか。」

「グレートキング」を生み出した創造主はにこやかに笑いながら言いました。

「確かに、今皆さんに関わっている創造主は通常の創造主では太刀打ちができない創造主です。

たとえ皆さんの宇宙の最高の創造主である「グレートキング」や「グレートホワイトキング」であったとしても彼らの力を抑える事はできないでしょう。

そのために多くの創造主が彼らとは関係を

持つ事を避けています。

また私達の創造主の評議会の中でも、彼らが勝手に他の宇宙に関わらないように警告を行ってきました。

皆さんの要望を私達の評議会にも伝え、そしてまた私が彼らの宇宙の創造主のリーダーと話しをして、この創造主が皆さんの宇宙から撤退するようにお願いしてみましよう。」

「グレートキング」を生み出してくれた創造主は私達の意向を理解してくれました。

私達に関わってきた創造主達のグループと話をし、この創造主を私達の宇宙から撤退させてくれるようにしたようです。

「TAKESHI さん、皆さんに関わってきた創造主を遣わした「宇宙を崩壊させる宇宙」のリーダーは、皆さんの宇宙から撤退する事を快く引き受けてくれました。

すぐにでも、皆さんの宇宙に関わっている創造主を呼び戻すようです。」

私はその話を聞いて安心しました。

PART2 「宇宙を崩壊させる宇宙」の創造主の暴挙

私達の宇宙を崩壊させかねない創造主が撤退してくれたおかげで、恵理さんの症状もだいぶ良くなっていきました。

そして7月の初旬になると、この「宇宙を崩壊させる宇宙」から来た創造主も私達の宇宙から消えていったようです。

しかしながら、彼らは私達の宇宙に今まで見た事もないようなダークピープルや闇の存在達を残して行きました。

それは私がスマホを使って仕事している時に急にそのスマホから電気ショックのようなものが私に伝わってきたのです。

そして昔痛めていた右の手首がビリビリと痛み始め、それが体全体にも広がるような感覚が起こってきました。

私は一体何が起こったのだろうとすぐに恵理さんに電話をして確かめてみました。

そうするとスマホやパソコンなどのIT機器や電気機器を通して移動する小型の機械のようなダークピープル達が私達の体の中に入り込んでいるのが分かったのです。

以前もサイレントメタルと呼ばれる未来から来たダークピープル達が作った小さなダークピープルが、IT機器やインターネットを通して多くの地球人に入り込み、人々の意識をコントロールしていた事がありました。

彼らはインターネット回線を通して、人々の生活や仕事の中に入り込み、その人達の意識をコントロールしてネガティブな思考や攻撃的な思考を作り上げていったのです。

その時は第1評議会の最高レベルにあるスターピープル達によってピカフラッシュと私達が呼んでいる小型機械のようなスターピープル等を作って頂いて、彼らの存在を撃退する事ができました。

今回も同じようなタイプのダークピープルのようにですが、異なる宇宙のダークピープルによって作られていますので、私達の宇宙のスターピープル達では対処ができない特別な力を持っているようです。

第1評議会のエレナさんに、私はこのダークピープルの事について聞きました。

「TAKESHI さん、この存在に関しては私達も今まで見た事がありません。

私達の宇宙の存在でない事だけは確かなようです。

また彼らの能力や彼らが何を行っているのか、その事さえも私達は分かりません。

これはおそらく「宇宙を崩壊させる宇宙」の創造主達が送り込んできたダークピープル達である事は間違いないようです。

これは創造主達によって解決してもらわなければならない問題であると思います。」

今までは「宇宙を崩壊させる宇宙」の創造主の力で、彼らの宇宙のダークピープルや闇の存在達は隠されていたのですが、彼らがいなくなった事によってこの存在達の姿が明らかになってきました。

おそらく今までも彼らは私達の生活や私達の活動を見張っていたのかもしれませんが。

もしくは、もうすでに地球人に対して様々な支配やコントロールを行っていたかもしれませんが、それは全て創造主の力によって隠されていたようです。

私は「グレートキング」にお願いする事にしました。

「グレートキング」よ、私達の宇宙にあの創造主達が残していったダークピープル達がすでに入り込み活動しているようです。

私達の宇宙のスターピープル達では対応ができないようですので、これをどのように対処したらよいか教えてください。」

「グレートキング」も困った顔しています。

「宇宙を崩壊させる宇宙」の創造主達は、実は「グレートキング」よりも力が強いので「グレートキング」では対処できない事も多々あるようです。

私は「グレートキング」を生み出してくれた創造主に、またお願いする事にしました。

「偉大なる創造主よ、「宇宙を崩壊させる宇宙」の創造主達が残していったダークピープル達によって私達の宇宙に大きな混乱が起きる可能性があります。

彼らの処理方法を教えてもらえませんかでしょうか。」

「グレートキング」を生み出してくれた創造主は、私達の状況を見て助けてあげる事にしたようです。

「わかりましたこれはとても厄介な問題です。

しかしながらこの問題は、「グレートキング」が引き起こしましたので、私の方で「グレートキング」にその対処法を教え「グレートキング」が対処する事にいたしましょう。」

創造主は「グレートキング」を自分の元に呼び寄せ、その対処法について教えているようです。

「グレートキング」は創造主からの指示を受けると、私達の宇宙を飛び回ってこのダークピープル達の処理を行っていきました。

PART3 襲撃された星々

私はその時、ふっと気が付いた事があります。それは数日前から、私達の家の中を 30cm くらいの黒い影が頻繁に動き回っている事を思い出したのです。

恵理さんに聞いてみると、彼女もその黒い影を気にしているようです。

私達は、私達の身の回りを警護しているハン

ターと呼んでいるスターピープルにそれがなんなのか確かめてもらいました。

ハンターはすぐにその黒い影のような物を捕まえてエレナさん達のもとに連れて行ったようです。

エレナさんがすぐに私のもとに来て、この黒い影のような存在の事について話してくれました。

「TAKESHI さん、この黒い影のようなものは、本来はフェアリーだったようですが、今はフェアリーとしての働きをする事なく、TAKESHI さん達の周りで、皆さんの動きを見張っているようです。

しかしながら、このダークフェアリーとも呼ぶべき存在は、今まで私達の宇宙にはいなかった存在ですから、きっと「宇宙を崩壊させる宇宙」の創造主かダークピープルが作り出したのかもしれない。」

私は、このダークフェアリーの処理について考えている時に、大切な事に気づきました。

「エレナさん、このダークフェアリー達はもしかしたら、私達の宇宙のフェアリー達がダークピープルや闇の創造主によってこのような存在に変えられたのではないですか。

だとしたらフェアリー達が本来生きている星が心配です。

すぐに白鳥座のデネブやアルクツールス星など、フェアリー達がいる星の状況を調べてください。」

スターピープル達の間には緊張が生まれます。スターピープル達は自分達の持ち場に戻り、天の川銀河の中でもフェアリーが生きている星に焦点を当てて調べています。

するとやはり白鳥座のデネブ星やアルクツールス星、オリオン座のリゲル星を始め、いくつも星に大きな異変が起きています。それは、フェアリー達がいる星だけでなく主要なスターピープル達が活躍する星々が、何者かによって大きな攻撃を受けているのです。

少しばかり前に、「紫ピラミッド」の残党と闇の創造主が協力して、天の川銀河のいくつもの星が同時に攻撃を受けた事件がありました。が、まだそれほど月日もたたない中、多くの星々が再び大規模な攻撃を受けてしまったのです。

エレナさんが深刻な顔をして言います。

「TAKESHIさん、私達は今回も自分達の記憶や思考を闇の創造主によってコントロールされていたようです。

私達は、このように自分達の仲間の星が襲撃されていた事に全く気付いていませんでした。

私達が知らない間に、また多くの星々とそこに住む生命達が犠牲にされてしまったのです。」

これはあまりにもひどい事です。

「宇宙を崩壊させる宇宙」の創造主は、スターピープルや物理世界の創造主の意識までコントロールしていたようです。

彼らがこの宇宙を去る事により、彼らが行った意識のコントロールが解け、私達の宇宙で起こった事が明らかになってきたのです。

「グレートキング」の学びのために行った事にしては度を越えています。

私は、「グレートキング」とそのお父さんの創造主を呼び出して「宇宙を崩壊させる宇宙」

の創造主が行った事を見てもらいました。
さすがに、この悲惨な現状を見て創造主達も
自分達が思っていたよりも状況が悪い事に
気づいたようです。

「創造主よ、これはあまりにもひどい事です。
今回は、「グレートキング」の学びというより
も、私達の宇宙を本当に崩壊させるつもり
で彼らは、天の川銀河の星々を襲撃してきた
のではないのでしょうか。

彼らがどのようなつもりでこういった事を行
ったのか、「宇宙を崩壊させる宇宙」の創造
主に問いただしてもらえませんか。」

これは私だけでなく多くのスターピープル
達も同じように思っている事でしょう。
すぐに創造主達は「宇宙を崩壊させる宇宙」
の創造主のもとに行ったようです。

しばらくして「グレートキング」が私達に報
告に来ました。

「TAKESHI さん、やはり「宇宙を崩壊させ
る宇宙」の創造主は、私達創造主の学びとい
うよりも皆さんの宇宙を自分達の物にする
ために侵略を行った事を明らかにしました。
そのために、いくつもの星々を侵略して、ダ
ークピープルなどを送り込んだようです。
私達にその存在が明らかにされたために、創
造主は退却したようですが、地球にも多くの
ダークピープルを残し、皆さんの活動の様子
を探り、機会があればまた皆さんの宇宙に入
り込もうとしたようです。」

私は大きくため息をつきました。

本当に創造主というのは自分の事しか考え
ていない連中が多いのです。

最初は、創造主やその宇宙に生きる種族の
「学び」のために、あえて侵略行為を行う事

もあるのですが、そのうち相手に「学び」を与えるというよりも侵略そのものが目的となってしまうのです。

「グレートキング」は、この件を彼らの創造主評議会に伝え、この創造主が行った事の修復を行うために各評議会の創造主と話を始めたようですが、私達の宇宙に今までいなかったダークピープル達ですので、私達の宇宙のスターピープルでは対応が難しいようです。

そのために、このダークピープル達の事を良く知っている宇宙のスターピープル達が応援に来てくれる事になりました。

おそらくは7月中にはその処理も終わり、私達は「アセンションへの道」を歩みだす事ができるかもしれません。

PART 4 創造主達の協力

私達の地球も今新しい地球に向かってどんどん変わっていきます。

そのためにこのように地球にネガティブな影響をもたらす創造主や存在達を振り落して、自分達にとってより良い状態に変わっていかねばなりません。

私達もこの地球に関わってきた様々な創造主やダークピープル達の処理をしながら地球のアセンションを進めてきましたが、本当に信じられないほどの多くの創造主や闇の存在達が関わっている事に驚かされます。いつもこれで終わりだ、これで最後だろうな、と思うのですが、しばらくするとその存在を利用していた創造主や闇の存在達が明らか

になりその存在達に対する処理をまた行わなければならないという事の繰り返しです
しかしながら もう少しでその事も終わるでしょう。

私達は、前を向いて「アセンションへの道」をしっかりと歩いていかなければなりません。

私達が、「宇宙を崩壊させる宇宙」から送り込まれたダークピープルの処理に困っている様子を見て、私達の宇宙の事をサポートしてくれる創造主から新たにスターピープル達が派遣されてきてくれました。

私達の宇宙よりもはるかに能力が高く物理世界の事も良く理解しているスターピープル達が、私達の宇宙のスターピープル達と協力してダークピープル達の処理にあたってくれています。

第 10 章 新たなる進化に向けて

PART1 「宇宙を崩壊させる宇宙」を招き入れた創造主

「宇宙を崩壊させる宇宙」の創造主が送り込んだダークピープル達を処理するために、いくつかの宇宙の創造主達が私達の宇宙にとっても素晴らしいスターピープル達を送り込んでくれました。

彼らは私達の宇宙のスターピープル達の能力をはるかに超えた素晴らしいスターピープル達です。

この地球に新たにやって来たダークピープル達の処理を行うために、「グレートキング」からの依頼で彼らは、私達の宇宙にやってきてくれたのです。

私達はさほど時間をかける事なく「宇宙を崩壊させる宇宙」から来たダークピープル達の処理が終わるものだと考えていました。

しかしながら、実際のところ、この「宇宙を崩壊させる宇宙」の創造主が送り込んだダークピープル達は非常に狡猾で、私達の思いもよらない場所に隠れていたり、もうすでに地球の人達と同化して分離する事ができないような関係性を作り上げていました。

そのために、私達がすぐに片付くであろうと思われていたダークピープル達の処理が思ったよりも広範囲に渡っており、時間がかかる事が判明しました。

私達はこの事に大きな失望を覚えました。せっかく「宇宙を崩壊させる宇宙」の創造主

を私達の宇宙から撤退させる事ができたのに、彼らが残したダークピープル達は、想像以上に厄介で私達の宇宙の奥深いところまで入り込んでいたのです。

そのために、私達がセッションを行っている人達にも多くの影響が出始めました。

私達がダークピープル達の処理に手間取っている様子を見て「グレートキング」はなにかを考えているようです。

もしかしたら「宇宙を崩壊させる宇宙」の創造主達がまだ隠れて私達の宇宙と関わっているのかもしれませんが。

あるいは彼らとは異なる宇宙の創造主達が私達の宇宙に新たに介入しているのかもしれませんが。

「グレートキング」はしばらく様子を調べるところかへ出かけて行きました。

そしてその翌日「グレートキング」は1人の創造主を連れて私達の前に戻ってきました。

「TAKESHIさん、恵理さん、現在、皆さんの宇宙のスターピープル達と異なる宇宙のスターピープル達が協力して、地球の物理次元に残ったダークピープル達の処理をしているにもかかわらず、なかなかその処理が進まない事を私も不思議に思っていました。

地球の中に入り込んだダークピープル達の行なっている事もだいぶ明らかになってきましたが、私達はその様子を見て少しおかしい所があると考えたのです。

それは「宇宙を崩壊させる宇宙」の創造主が手を引いた時には、多くのダークピープル達も創造主達と共に自分達の宇宙に帰る事が普通です。

あるいは残っていたとしてもその力を大きく失ってしまうのが通常なのですが、新しく

皆さんの宇宙に入ってきたダークピープル達は、創造主達が帰った後も自分達の宇宙に帰る事をせず、また力を失う事もなく、皆さんの宇宙の中に様々な仕掛けや罠を作り、地球の人達を捕らえ続けています。

これには何か理由があるのではないかと思ひ調べましたところ、1人の創造主様が浮かび上がってきました。」

私達は「グレートキング」が連れてきた創造主が、私達の宇宙に対して、私達の気づかないところで干渉してきたのではないかと思ひました。

もしかしたら、この創造主は、「グレートキング」に学びを与えろと言いながら、自分自身が私達の宇宙を支配しようと考えているのではないのでしょうか。

「TAKESHIさん、この創造主様は多くの宇宙を創造した創造主様達の最高次元の評議会のメンバーの1人なのです。

私よりも遥かに経験豊かでそして大きな力を持っている創造主様です。

実を言いますと、このレベルの創造主様達は、全部で5名いらっしゃいます。

私を生み出していただいた創造主様よりも上の次元の創造主様達なのです。」

「という事は、「グレートキング」を生み出してくれた創造主よりもさらに経験豊かで古い創造主という事になるのですか。

その様な創造主が、私達の地球に関わってくる理由があるのですか。」

「実は、それが問題なのです。

この5名の創造主様がまだ若い頃は、お互いが協力し合い、宇宙の創造というものを非常に理想的な形で進めていらっしゃいました。

それは皆さんの宇宙が生まれるずっと前の話です。

私さえもまだ生まれて間もない頃の話です。今は最高次元にいらっしゃる5人の創造主様達ですが、その頃はまだまだ未熟なところが多く、彼らを生み出した創造主様から多くの学びを得ていた時代です。

しかしながら、5人の創造主様達が成長するにつれて、少しずつお互いの意見が食い違い、お互いの宇宙の理念や宇宙を創造するやり方なども異なってきたのです。

そしてどのような方向に自分達の宇宙を導いていくのか、という事で意見が分かれ始めました。

ある創造主様が他の創造主様の宇宙に干渉する事によって、お互いの間に多くの反発や摩擦を生み出してしまい、創造主様達の間で、大きな争いが起こってしまいました。

その争いは果てしなく、多くの宇宙を巻き込み、多くの星々を破壊しながら進んでいきました。

しかしながら、創造主様達はその争いがどれほど無意味であるかという事を悟ったのです。

創造主様達は、今後このような争いを起こさないために、お互いが干渉し合う事、お互いが関わる事をやめようというルールを作ったのです。

もちろん、お互いが干渉しあったり、関わらなければ争いというものは起こりませんが、お互いが協力する事によって今まで成長していた創造主様達が、お互いの関係を閉ざすという事は、自分達の宇宙の成長だけでなく、自分達の創造主としての成長も止まってし

まう事になってしまいます。

創造主様達は、お互いに関わり合わないようにして、今まで進んできました。

お互いが干渉し合わない事で、ある宇宙はとても平穏で進化のない宇宙になってしまいました。

毎日毎日が変化もなく平穏に過ぎていきました。

その宇宙に生きている生命体も進化することなく、ただ時間だけが流れ、せつかく生命体達が持っている力を十分に発揮する事ができませんでした。

そのような時、今回お連れした創造主様はお互いの宇宙がもっと関わり合うべきだ、お互いが影響しあう事によってお互いの宇宙がもっと刺激的な関係を作り、成長すべきだと主張されたのです。

そのために1つの宇宙が成長するためには異なる宇宙の力が必要だ、お互いの宇宙でお互いの創造主が関わる事で大きな進化を宇宙にもたらすことができる、という事を常に言い続けられました。

しかし、他の創造主様達は、この創造主様が言う事をあまり受け入れませんでした。

それは、過去の大きな争いを繰り返す事が怖かったからです。

そのような状況を打開するために、この創造主様は、皆さんの宇宙に危機的な状況を生み出し、私達の宇宙の創造主だけでは手に負えないので他の宇宙の創造主達が手助けするという事を考えたのです。

そのために皆さんの宇宙に「宇宙を崩壊させる宇宙」の創造主とダークピープル達が関わる計画を立て、その事を「宇宙を崩壊させる宇宙」の創造主に告げたのです。

しかしながら、「宇宙を崩壊させる宇宙」の創造主は、この創造主の言っている事をあまり深く考えずに皆さんの宇宙に対して侵略的な行為を行ってしまいました。

それが彼らの役目でもあるからです。」

「「グレートキング」よ、あなたの話はわかりました。

という事は、いくつもの宇宙の創造主達が協力し合うべきだと考えている創造主によって「宇宙を崩壊させる宇宙」の創造主とダークピープル達が私達の宇宙に押しかけてきたという事なのですか。」と私はたずねました。

PART2 新たなる宇宙の進化に向けて

この時、「グレートキング」が連れてきた創造主様が私達に向かって口を開きました。

「TAKESHI さん、そして恵理さん、そして皆さんの宇宙の創造主とスターピープルの皆さん達に対して大変ご迷惑かけた事を私は大変申し訳なく思っております。

私は「グレートキング」と呼ばれる創造主がおっしゃったように、最高次元の創造主達はお互いが行っている事に無関心すぎると考えています。

ひとりの創造主が正しい事をしていると考えていたとしても、実際はそうではないという事も多々あるからです。

しかしながら創造主達は、昔の事を教訓としてお互いがあまり関わろうとしていませんでした。

しかしこのままでは、創造主達もそうですが創造主達が作る宇宙が進化していかないと

いう事に私は気づいたのです。

そのために何かの事をきっかけとして多くの宇宙の創造主達が、再び関わり合い、そしてお互いの良いところ悪いところを見直して、新たな進化の道を作り出す事ができればと考えていました。

そのために現在アセンションを行い、多くの宇宙とのゲートを開く事が可能である皆さんの宇宙でこの事を行おうとしたのです。

そして「宇宙を崩壊させる宇宙」の創造主とダークピープル達を皆さんの世界に招き入れ、皆さんの世界が大変危機的な状況になれば、他の宇宙の創造主達も皆さんの宇宙に対してサポートに入ってくれるのではないかと考えたのです。」

私は「ちょっと待って下さい。」とその創造主に言いました。

「多くの創造主達が協力しあって、新しい進化の道を作るために、私達の宇宙に「宇宙を崩壊させる宇宙」の創造主とダークピープル達を招き入れ、混乱を起こしたという事は、私達の宇宙はどうなっても良いという風に、あなたは考えていたのですか。

私達の宇宙は、アセンションを今おこなっている途中で非常にデリケートなバランスの上に成り立っています。

今迄も、多くの異なる宇宙の創造主や闇に堕ちた創造主達から様々な攻撃を受け、私達の宇宙の創造主達やスターピープル達、そして私達も大変傷ついているのです。

そのような状況の中で「グレートキング」も手に負えないような宇宙の創造主達やダークピープル達を招き入れるという事は、私達

の宇宙に壊滅的な影響を与えるという事になるのではないですか。

実際、「宇宙を崩壊させる宇宙」の創造主とダークピープル達によって多くの星が大きな打撃を受けましたし、地球人も新しく来たダークピープル達に取り込まれています。それはあなたの独りよがりの考え方です。そのような考え方で、他の宇宙の創造主があなたに同意するとは私には到底思えません。」

その創造主は、私の反論にちょっと意外だ、という顔しました。

私のようなひとつの星に生きている人間が、創造主に対してこのような批判を行うなどという事は今までに全くあり得なかったからです。

しかもこの創造主はいくつもの宇宙を統括する最高次元に近い創造主ですから、同じ創造主でも、彼に逆らう創造主達などいるはずもありません。

創造主は、いったい私に向かって何を言っているんだ、というような顔をしてみせましたが、ただ自分が行った事が予想以上に私達の宇宙に混乱や破壊的な影響を招いた事に対して、自分が「宇宙を崩壊させる宇宙」の創造主に、私達の宇宙に関わるように勧めた事は間違っていたのではないかと考えたようです。

創造主は私を見て言いました。

「確かに私が「宇宙を崩壊させる宇宙」の創造主とダークピープル達を皆さんの宇宙に招き入れた事は間違いだったかもしれませんが。

私もここまで彼らが皆さんの宇宙に対して破壊的な行為を行うとは思っていませんでした。

しかしながら、その事によっていくつかの宇宙の創造主とスターピープル達が皆さんの宇宙に救援に入り、皆さんの宇宙に関わる事で、皆さんの宇宙が新たな進化の道を歩み始める事は決して悪い事ではないと私は考えています。」

私はその言葉に内心とても大きな怒りを感じました。

しかしながら、これが創造主のやり方なのです。

彼らにとって地球や物理世界に生きる種族達は、あくまでも自分達が作った創造物、そういう意識がまだまだ彼らの中に残っているのです。

地球のような物理世界に生きている者達を尊重し、彼らの願いや彼らの思いに寄り添って宇宙を創造しようとする創造主を今まで見た事がありません。

私が高次の創造主達と深くつながり、創造主のスピリットを持っているために、私が言っている事や私が求める事を、創造主達は行なってくれますが、それは地球の物理世界に生きる地球人を大切にするという事とはまた異なる事なのです。

私は、創造主に対して言葉を続けます。

「創造主よ、皆さんの創造主としての意見はよくわかります。

しかしそれはあまりにも物理世界を無視している事なのです。

本当に皆さんが宇宙の進化を求めるのならば、物理世界に生きている存在、それが肉体を持っている存在、あるいは肉体を持たないスピリチュアルな存在だとしても、彼らの事をもっと大切にする必要があると思います。

私達の宇宙の創造主に告げる事なく、「宇宙を崩壊させる宇宙」の創造主を招き入れるという事はあまりにも無謀な事であると私は考えております。」

「皆さんは、地球の物理世界や天の川銀河の状況しか見えていないので、そのようにお考えになる事は当然です。

しかしながら、皆さんの宇宙の創造主やスターピープル達が他の宇宙の創造主やスターピープルと関わる事によって、皆さんの進化が加速度的に早くなり、今まで想像もしていなかった進化が起こるのです。

攻撃を受けた星の被害は修復をすれば直ります。

そのことばかりに意識を捕らわれずに、異なる宇宙の創造主やスターピープルと皆さんが関わる事によって、皆さんの宇宙がどれほど素晴らしい宇宙になるか、考えてみてください。

そして、多くの宇宙の創造主達が交流し合い、それぞれの宇宙が素晴らしい宇宙へと変わっていくのです。」と、創造主は私に語りかけます。

「グレートキング」も私に気付かってこのように言いました。

「TAKESHIさん、恵理さん、今回の事は私の方からも皆さんに深く謝罪させていただきます。

この創造主様が考えている事は決して間違えている事ではありませんが、ただ私達の宇宙の創造主の同意も得ずして、このような事を行なった事に関して、彼は反省すべきだと私も考えております。

創造主様は、皆さんの宇宙の現状を見て、そ

の修復に対して自分も協力する、という事を申し出てくれました。

創造主様はとても責任感の強い方ですので、皆さんの宇宙で起こった事に関して私達とともに修復を行ってくれると思います。

そして、皆さんが想像もしていないような素晴らしい宇宙に進化していく事を手伝ってくださる事と思います。」

そのように言って「グレートキング」ともう1人の創造主は私達の前から消えてきました。

私はこの創造者が言った事のなかで気になる言葉がありました。

それは多くの宇宙の創造主達やスターピープル達が関わる事によって、私達の宇宙の進化やアセンションの姿が変わるという事です。

PART3 スターピープルに起こっている変化

私は、その事を調べるために、すぐにエレナさんと呼び出しました。

「エレナさん、私達の宇宙に「宇宙を崩壊させる宇宙」の創造主を招き入れた創造主が、この宇宙の創造主やスターピープル達が他の宇宙の創造主やスターピープルと関わる事によって、私達の進化が変化して新たな進化の道が作られていくというような事を言っていました。皆さんはどのように考えられていますか。」

エレナさんは私に向かってこのようにいました。

「確かにこの新しく入ってきたダークピープル達の処理は私達だけではできません。そのために他の宇宙のスターピープル達が入ってきて私達と共に活動しています。彼らは今まで私達が体験した事もない光や能力を持っていました。またとても素晴らしい愛に満ち溢れていました。そのために私達スターピープル達にも様々な変化が起きてきたのです。それは私達が今までに持っていない能力やあるいは光が私達に加わってきたという事でもあります。」

私はエレナさんの言葉に少し驚きました。そんなに短期間で変化が現れるものだろうかと考えたのです。

「エレナさんは自分達に対して能力が変わって来たり、新しい能力が生まれてきたというような事を今おっしゃいましたが、スターピープル達にどのような変化が起こってきたのか教えてもらえませんか。」

「私達は肉体を持たないスピリチュアル体ですから、自在に変化が起こります。その変化は、それぞれのスターピープルによって異なっているようです。私の場合には同時に何名ものスターピープルとコミュニケーションが取れるようになりました。他のスターピープルも、それぞれ異なる能力に目覚めてきている者達もたくさんいます。」

「その変化は皆さんにとって良い事なのですか、皆さんが望んでいる事なのですか。」と私は尋ねます。

「私達はそれを望む、望まない、という価値判断はしておりません。」

その進化が必然であれば、私達はそれを受け入れます。

またそれが私達にとって必要でないと、創造主が判断するならば、その能力は私達からなくなると思います。」

「それでは、現在、地球のアセンションに対しても変化が起こってきているのですか。」
私はエレナさんに尋ねました。

「それはまだ現在の状況でははっきりしていません。

しかしながら異なる宇宙のスターピープル達は私達の宇宙にとって、とても大きな光を持っていますので、その光によって私達の宇宙の状況が少しずつ変化しているという事は確かなようです。

特に現実世界に置いても、新しく来たスターピープル達の光によって、人々が抑え込んでいた感情エネルギーが今までよりも多く噴出して来たり、人々の潜在的な能力が目覚めつつある人も居るようです。

その変化を創造主達が認めないのであれば、異なる宇宙から来たスターピープル達をなるべく早く撤退させて、自分達のアセンションへと軌道修正を行う必要があるかもしれません。

また創造主達はその変化を望むのであれば、このスターピープル達が私達に関わる事で私達の宇宙に起きる変化というものを許容していく事となるでしょう。」

「そういえば、恵理さんが、最近人や食べ物を見たときに青く光って見える場所があると言っていましたか、これも何か関係があるのですか。」

エリナさんは少し恵理さんの体を調べるとこのように言いました。

「それは、恵理さんが人の体や食物に蓄積している放射能が見えるようになってきたためのようです。

それも恵理さんの能力の一つが目覚めてきたという事かもしれません。」

どうも地球人の私にしてみれば、少し難解な問題になってきたようです。

今の地球のアセンションがまだまだ十分に行われていないにも関わらず、アセンションの形やスターピープルや地球人の能力というものがこれから変化していくのであれば、どのような未来が私達を待っているのか想像もつかないというのが本当のところです。

PART4 大元の創造主の願い

しばらくの間、創造主達やスターピープル達は協力し合って「宇宙を崩壊させる宇宙」の創造主が残っていた問題进行处理していました。

特に、地球のダークピープルや人間達に入り込んだ「宇宙を崩壊させる宇宙」のダークピープル達の処理が続きました。

しかしながら思ったよりもその処理が進んでいません。

特に新しく来たダークピープル達は、地球のダークピープル達との間にもうすでにハイブリッドのダークピープルを生み出していたために、簡単に除去できないような状況を生み出していたのです。

「グレートキング」や「宇宙を崩壊させる宇宙」の創造主を招き入れた創造主も自分達の

責任で修正を行うと言っていたのですが、一向に処理が終わらないので私は心配になってきました。

私は「グレートキング」を呼び出していったいどうなっているのか聞きました。

「TAKESHI さん、私達は異なる宇宙から応援に来てくれた創造主やスターピープル達と協力して、皆さんの地球や宇宙の修正をしています。

「宇宙を崩壊させる宇宙」の創造主とダークピープル達が行った事を明らかにして、彼らが残していった様々な仕組みを解き放っているのですが、実は私も思っている以上に状態が良くなならない事に対して非常に不思議に思っているのです。

本来であれば、もう少し速やかに皆さんの宇宙のエネルギーが改善され、ダークピープル達もいなくなるはずなのですが、このダークピープル達が様々な方法で皆さんの物理世界に深く関わってしまい、その処理が遅れているのです。

多くのダークピープル達が地球の人々とすでに一体化しているために、このダークピープル達を皆さんの宇宙から排除できない可能性が出てきましたので、ダークピープルと一体化した人達全てを、皆さんの宇宙から分離し、皆さんと関わる事が出来ない世界を作ろうと思っているのですが、様々な妨害があってそれがうまく進んでいないのです。私達は、その事をととても不思議に思っているのです。」

私は「グレートキング」の言葉に大きな落胆を感じました。

創造主達が、責任を持ってしっかりとやると

約束しておきながら、現状がなかなか進んでいかないという事に苛立ちを覚えているのです。

「なぜそういう事になっているのですか。皆さん創造主がその事をやると決断すれば、例えそれが物理世界の事であったとしても上手く行くようになっているのではないですか。

誰かがまだ妨害しているか、その事を認めない創造主でもいらっしゃるのですか。」

「グレートキング」も困ったような顔をしています。

「いいえ決してそういう訳ではないのですが、私達の力が現実世界に及ばないのです。現在、なぜそのような事が起きているのか調査中ですので、もうしばらくお待ちください。」

そして7月も中旬になった頃、「グレートキング」が私達に報告にきました。

「TAKESHIさん、実は大変な事が裏で起きていました。

それは私達を生み出した5人の偉大なる創造主をさらに生みだした創造主様がこの件に関わっていたという事が分かったのです。

その創造主様は、自分が生み出した創造主達がお互い助け合う事もなく、それぞれの道を歩んでいる事に対して、それではいけないというふうにお考えだったのです。

それは皆さんの宇宙に「宇宙を崩壊させる宇宙」の創造主を招き入れた創造主様と同じような考え方でもあったようです。

創造主様は、私達の宇宙が大変困り果てた時、異なる宇宙の創造主達が私達の宇宙をサポ

ートする事で、また昔のように創造主達が仲良く協力し合って素晴らしい宇宙を作る事が出来るようになる事を強く望んでいらっしゃったようです。

そのために私達の宇宙の創造主達だけでは解決できないような状態を皆さんの宇宙に引き起こしました。

そして、多くの創造主達がサポートしてこの問題を解決し、昔のように素晴らしい宇宙を作り上げる為に協力するというような体制を作り上げたかったのだとおっしゃっていました。」

「という事は、「グレートキング」よ。私達の宇宙に「宇宙を崩壊させる宇宙」の創造主とダークピープル達を招き入れた創造主が言っていた事が正しかったという事ですか。」

「実はそうなのです。彼はある意味、この大元となる創造主様の意思を受けてそのように言っていたようです。しかしながら、多くの創造主達が彼の言う事に耳を傾けず、彼の言う事が実現されなかったために、ついに最高次元の創造主様が動いたという事のようにです。

この大元の創造主様は、全ての世界、全ての次元、全ての時間に自分の意思を働かせる事ができます。

皆さんの物理的な宇宙でさえも、彼はその様子を知り、またその世界に関わる事が出来るのです。

そのために「宇宙を崩壊させる宇宙」の創造主達が撤退としたとしても、そのダークピープル達の処理がうまくできずに、多くの宇宙の創造主達が関わらざるを得ないような状況を作っていたようです。

皆さんの宇宙のアセンション、これはまさに皆さんの宇宙だけではなく、多くの宇宙を創造した創造主達にとっても大変重要な意味のあるものなのかもしれません。」

私はこの話を聞いて、私達が行っているアセンションの意味合いがどんどん深くなっていく事を感じています。

そしてこれから、私達のアセンションがどのような世界に向かってすすんでいくのか、興味深いところです。

そして同時に、私達の宇宙のみならず多くの宇宙を作り出した創造主達が、おたがい協力し合って、どのような宇宙を生み出し、進化させていくのか、私達には到底計り知れない事でもありますが、地球のアセンションをきっかけとして、そのような壮大なプログラムが実現されていく事に喜びを覚えます。